

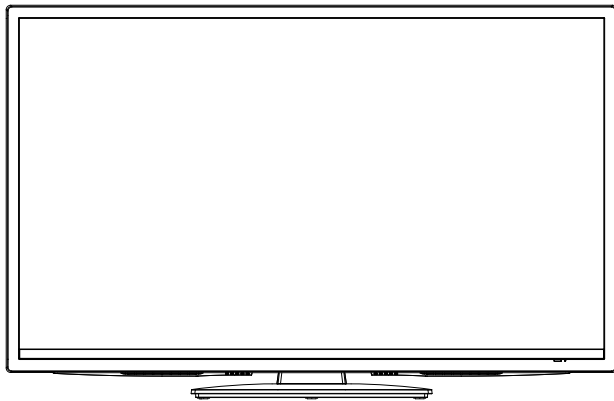
ORION

液晶テレビ(地上・BS・110度 CSデジタルダブルチューナー搭載)

品番

RN-32SF10/RN-24SF10

取扱説明書



このたびはオリオン液晶テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。お読みになったあとは大切に保管し、おわかりにならないことがあったときに再読してください。
- 保証書は必ず「販売店／購入日」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
- 本機はデジタル放送専用のテレビです。
- この取扱説明書は、RN-32SF10、RN-24SF10で共用となっています。
- 記載しているイラストは、RN-32SF10のものです。



もくじ

はじめに

安全上のご注意	2
ご使用になる前にならずお読みください	
使用上のご注意	6
主な特長	7
スタンドの取り付け方法	8
各部のなまえ	9
リモコンについて	11
電源について	13

準備

アンテナと接続する	14
B-CASカードの挿入	15
はじめての設定のしかた	16

基本操作

テレビを見る	18
番組表をつかう	21
USB HDD録画機能について	25
番組を録画する	27
録画した番組を再生する	31
写真を見る	35

便利な使い方

メニュー画面の操作方法	37
メニュー項目の詳細	38
サブメニュー項目の詳細	44
文字入力について	46

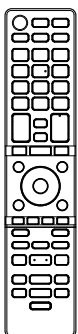
接続

外部機器との接続	48
HDMI運動対応機器と接続する	50
パソコンと接続する	52
双方向通信／データ放送の準備	54

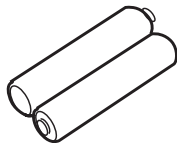
その他

壁掛け設置について	55
エラー表示一覧表	56
故障かな?と思ったら	58
ライセンス情報	62
アフターサービスについて	63
仕様	64

付属品をお確かめください。



リモコン×1



単4形乾電池×2

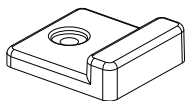


mini B-CAS(ビーキャスト)カード×1

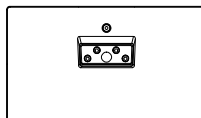


ネジ

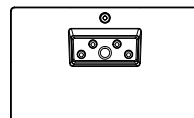
- ・ 本体スタンド取り付け用(4×18mm) : 4本
- ・ B-CAS(ビーキャスト)カードカバー固定用(3×8mm) : 1本



B-CAS(ビーキャスト)カードカバー×1



本体スタンド×1 (RN-32SF10)



本体スタンド×1 (RN-24SF10)

安全上のご注意

この取扱説明書の文中にてでくる「テレビ」「本機」ということばには、「付属品」も含まれています。

ご使用前にこの「安全上のご注意」と「取扱説明書」をよくお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになったあとはいつでも見られる所にかかわらず保管してください。

本製品は安全に十分に配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります危険です。

本機および付属品をご使用になるときは事故を防ぐために、次の注意事項をよくご理解の上からずお守りください。



警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人がけがをしたり、物的な損害を受けたりする可能性がある内容を示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、絵表示をしています。その表示の意味は次のようになっています。

絵表示の例

注意(警告を含む)を促す記号



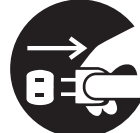
高圧注意

行為を禁止する記号



接触禁止

行為を強制したり指示する



プラグをコンセントから抜け

家庭用品品質表示法による表示 ご使用上の注意

1. 内部の温度が上昇しますので通風孔をふさがず、周囲に10cm以上の間隔をあけてください。
2. 温度の高い場所や湿気の多い場所は避けてください。
3. 内部には高電圧部分がありますので、裏ぶたを開けないでください。異常時は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
4. 電源コードや電源コンセント、電源プラグの点検、テレビ内部の掃除を定期的に行ってください。

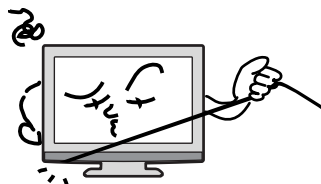
オリオン電機株式会社



警告

電源コードや電源プラグの損傷による火災・感電を防ぐため、次のことをお守りください

- 電源コードや電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工しないでください。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っばったり、加熱したりしないでください。
- 重いものをのせたり、電源コードがテレビの下敷きにならないようにしてください。
- 電源コードの表面のビニールが溶けるのを防ぐため熱器具に近づけないでください。
- 電源コードを抜くときは、コードを引っばらずにかならず電源プラグを持って抜いてください。



禁止

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります

キャビネットを開けないでください。

内部には高電圧部分があるため、感電の原因となります。お客様による修理は絶対にしないでください。

内部の点検、調節、修理は、お買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。



高圧注意



分解禁止

内部に異物や水分を入れない

金属類や燃えやすいもの、水分などが内部に入ると、感電や火災の原因となります。

特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

- 通風孔から金属類や燃えやすいものを内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
- 本機の上に水の入った容器や植木鉢、小さな金属類(安全ピンやヘアピンなど)を置かないでください。
- 水がかかるような場所では使用しないでください。
- 銭湯、温泉場の脱衣所など硫黄成分が発生しやすい場所、湿気の高い場所でのご使用はなるべく避けてください。製品故障が早まる場合があります。ご使用環境によっては、保証期間内の故障でも保証対象外とさせていただきます。



水場での使用禁止

雷が鳴りだしたら電源プラグに触れないでください
感電の原因となります



接触禁止

本機は国内専用です

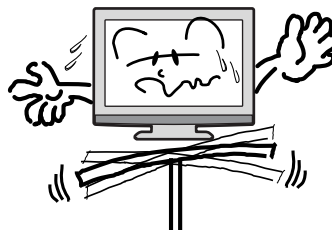
電源プラグを交流100ボルト(AC100V)の家庭用電源コンセント以外にはつながないでください。異なる電源電圧で使用すると火災や感電の原因となります。



AC100V以外禁止

設置場所や取り付けには気を付けて 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台や傾いた台などに置くと、落下によるけがや物損事故の原因となることがあります。また、台などにのせて設置する場合は転倒防止の処置をしてください。



禁止

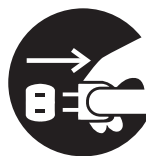
異常時の処置

故障のまま使い続けると、火災や感電、けがの原因となります
次のような症状が見つかったら

- 異常な音や臭いがする、煙が出ている。
- 内部に水や異物が入った。
- 本機を落とした、本機の一部を破損した。
- 正常に動作しない。(画面が映らない、音がでない)
- 電源コードや電源プラグに傷がある。

ただちに、電源を切って、電源コードをコンセントから抜き、お買上げ店または、サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源プラグをすぐに抜くことができるように、容易に手が届く位置のコンセントを使用して設置してください。



プラグをコンセントから抜け



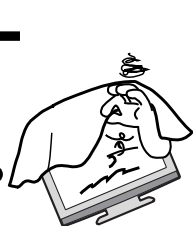
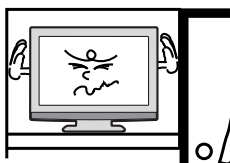


注 意

通風孔をふさがない

通風孔(放熱のための穴)をふさがないでください。内部に熱がこもり**発火やけが、感電の原因**となる場合があります。

- 密閉したラックの中に入れてください。
- じゅうたんや布団のような柔らかいものの上に置かないでください。
- 布団や毛布、布をかけないでください。
- 暖房器具のそばや直射日光が当たる場所など高温になるところに置かないでください。
- 本機の設置は周囲から10cm以上の間隔を開けてください。



禁 止

湿気やほこりの多いところ、油煙や湯気が当たるところに置かない
火災や感電の原因となる場合があります。



禁 止

本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない

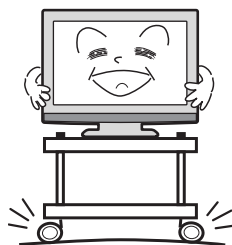
倒れたり、こわれたりして、**けがの原因**となる場合があります。特に小さなお子様には気を付けてあげてください。



禁 止

キャスター付テレビ台に置くときは、キャスター止めをする

可動式の台は動きやすいため、転倒による**けがの原因**となる場合があります。

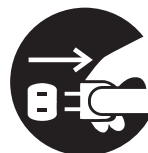


指 示

安全のため電源プラグを抜く

次の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。**思わぬ火災や感電の事故から防**ぎます。

- 旅行などでしばらく使わない場合
- お手入れをする場合
- 本機を移動させる場合(この場合は、接続コードなどもはずしてください)



プラグをコンセントから抜け

濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電の原因となる場合があります。



ぬれ手禁止

内部の掃除

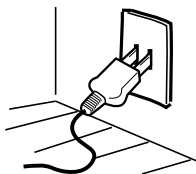
内部にほこりがたまったまま長い時間掃除をしないと、**火災や故障の原因**となります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。

- 内部の掃除は、1年に1度くらいを目安にしてください。
- お客様ご自身による内部の掃除は絶対にしないでください。**感電の原因**となります。
- 内部清掃や費用については、お買上げ店またはサービスセンターにご相談ください。



ときどきは電源コンセントや電源プラグの点検を

長い間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしておくと、ほこりがたまり、湿気が加わることで漏えい電流が流れ、**火災の原因**となることがあります。電源プラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は、特に危険です。



思わぬ事故を防ぐために

- コンセントの周りにほこりをためないようときどき掃除をする。
- 電源プラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- コンセントや電源プラグに異常がないか確かめる。
- リモコンや本体の電源ボタンで電源を切っても、微小な電気を使っています。完全に電源を切るには、電源プラグを抜いてください。長期間の外出やご旅行のときなどにも、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。

液晶パネルの取り扱いについて

- 液晶パネルを強く押ししたり、強い衝撃を与えないでください。液晶パネルのガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶パネルが割れた場合、パネル内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症などの原因となることがあります。万一口に入った場合は、すぐにうがいをして医師にご相談ください。また、目に入ったり皮膚に付着した場合は、きれいな水で最低15分以上洗浄した後、医師にご相談ください。

お手入れについて

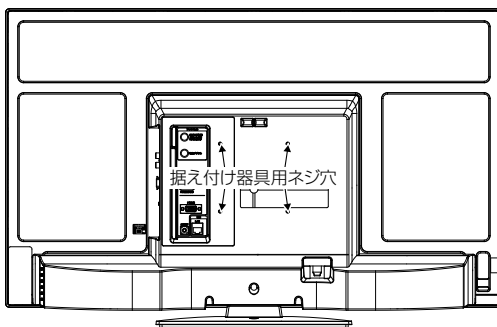
- お手入れの際は、必ず本機及び接続している機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 柔らかい布で軽く乾拭きしてください。汚れがひどいときは、水を含ませた布をよく絞り、拭き取った後は乾拭きしてください。
- キャビネットの変質・破損・塗料はがれの恐れがありますので、次のことをお守りください。
 - ベンジンやシンナーは使わないでください。また、化学ぞうきんの使用は、注意書きに従ってください。
 - 殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムや粘着テープ、ビニール製品などを長期間接触させないでください。
- 液晶パネルの表面は、薄いガラス板の上にコーティング加工が施されています。パネル保護のため、次のことをお守りください。
 - パネルに硬いものやとがったものを当てたり、強く押しったりこすったりしないでください。傷付き・変色の原因となります。
 - パネルの表面に露付きなどによる水滴など液体を付着した状態で使用しないでください。色ムラ・変色の原因となります。
 - パネルの汚れを拭き取るときは、ほこりの付いた布や化学ぞうきんなどを使わないでください。傷付き・変色の原因となります。

もし、異常があるときはすぐにお買上げ店または、サービスセンターにご相談ください。



壁面への据え付けについて

- 本機を壁に据え付ける際には、お買上げ店に依頼して、市販の器具で据え付けてください。不完全または誤った据え付け方をすると、**けがや故障の原因**になるおそれがあります。



使用上のご注意

面欠点について

液晶パネルには、画面の一部に欠点(光らない点)や輝点(余計に光る点)が存在する場合があります。これは故障ではありません。

残像について

静止画(画面表示など)やメニュー表示を短時間表示し、映像内容が変わったときに前の静止画が残像として見えることがあります。故障ではありません。自然に回復します。

視野角(テレビを見るときの角度)について

液晶パネルは正面から見た時に比べ、下から見た時などは色合いが異なり暗く見える場合があります。これは故障ではありません。

焼き付きについて

静止画(画面表示など)や、ゲーム機などの動きの少ない映像を長時間または繰り返し表示したり、ハイビジョン放送(16:9)の映像をノーマル(4:3)の画面サイズで長時間ご覧になると、液晶パネルが焼き付きを起こす場合がありますので、ノーマル(4:3)以外のモードを使用することをお勧めします(39ページの「表示モード」を参照してください)。焼き付きが軽度のときは、目立たなくなることがありますが、一度起こった焼き付きは完全には消えません。

本機の温度について

本機は、長時間使用したときなどに、パネル表面や上部が熱くなる場合があります。熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいものを上に置かないでください。

本機を廃棄するとき

一般の廃棄物と一緒にしないでください。ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。

B-CAS カードについて

付属のB-CASカードはデジタル放送を視聴していただくために必要で大切なカードです。破損や紛失の場合はただちにB-CAS[(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ]カスタマーセンターへご連絡ください。

なお、お客さまの責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が発生します。

ペイパービュー(有料放送)について

本製品はペイパービュー(PPV: PAY PER VIEW)には対応していません。

録画について

テレビの映像や音声は著作権法により保護されています。個人として楽しむなどの他は権利者に無断で使用できません。

デジタル放送受信時

クイックスタートを「オン」に設定すると、立ち上げ時間が短くなります(42ページの「クイックスタート」を参照してください)。

受信環境や使用環境によって、立ち上げ時間等は変化します。

BS・110度CSデジタル放送をご覧になる前に

BS・110度CSデジタル放送をご覧になるには、BS・110度CSデジタル放送用のアンテナが必要です。

BS・110度CSデジタル放送受信については、アンテナケーブルや分配器、ブースター等の機器の影響を受けやすくなっています。現在ご使用のBSアンテナで今まではBS放送が映っていても、BS・110度CSデジタル放送が映らない場合があります。その場合は販売店にご相談ください。

110度CSデジタル放送は、入会金と月々の会費が必要となる有料放送です。お楽しみになるには、加入申し込みが必要となります。

BSデジタル放送では、WOWOWやスターチャンネルなどが、視聴した月や番組に応じた有料放送となります。加入申し込みなどの方法は、BSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社などにより異なります。詳細はご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

地上デジタル放送のCATV放送対応について

本機は、パススルー方式のすべての周波数に対応しています。

送信方式については、ご契約・もしくはご契約予定のケーブルテレビ会社にお問い合わせください。

緊急警報放送について

地震情報などの緊急警報放送を受信した場合、緊急放送のチャンネルへの切り換えを確認する画面が表示されます。

廃棄時にご注意願います

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのテレビ(ブラウン管式/液晶式/プラズマ式)を廃棄される場合は、収集・運搬料金と再商品化等料金(リサイクル料金)をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

主な特長

高音質

- 音声モード

視聴する映像に適した音やお好みに合わせた音質を選ぶことができます。

おすすめ : 全体的なバランスを重視

ミュージック : 音楽や歌などに最適、小音量でも迫力ある音を楽しめる

はっきり音声 : ニュースやドラマのセリフなど、人の声が聞き取りやすい

お好み設定 : 高音・低音をアップするなど、お好みで調整

高画質

- スーパーレゾリューション

自然な色合いで、ノイズの少ない映像を再現します。

精細かつ、奥行きのある映像をお楽しみ頂けます。

- 高色彩 LED (RN-32SF10 のみ)

バックライトに業界トップクラスの色の再現性を実現する高色彩 LED を採用。

色表現範囲を従来比 約 25% 拡大することで、従来は再現しきれなかった色味まで、より自然に、より鮮やかに表現します。

- ブルーライト軽減モード

眼の疲れや体内時計を狂わせるといわれているブルーライトを最大50%軽減します。

USB HDD 録画

- 裏番組録画(ダブルチューナー搭載)

USB 端子(録画・写真再生用)に接続した USB HDD(ハードディスク)に録画、再生して楽しむことができます。

お好きな番組を見ながら裏番組を録画できるので、同じ時間に見たい番組が重なった時に便利です。

- 1.3 倍速再生

再生ボタンを長押しすると、音声を流したまま 1.3 倍の早さで再生。録画番組を短い時間で視聴できます。

- オートチャプター

録画番組を自動でチャプター分割し、見たいシーンから素早く再生することができます。

その他

- 写真再生

デジタルカメラやビデオカメラ、USB メモリーを USB 端子(録画・写真再生用)に接続することで、保存されている写真をお楽しみ頂けます。

- オンタイマー
- オフタイマー

設定した時間になると、テレビの電源を自動でオン・オフするタイマー機能を搭載。

就寝時の消し忘れ防止や目覚まし代わりに使うことができます。

スタンドの取り付け方法

ご注意

液晶パネルの破損にご注意ください

強い衝撃や無理な力を加えると破損・歪みの原因になります。

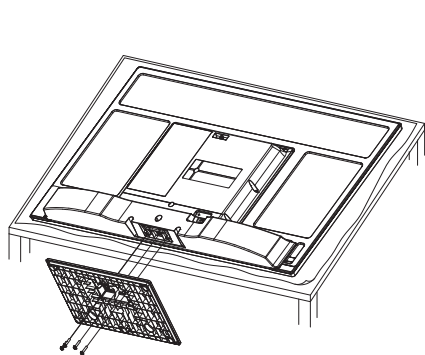
特に本体を梱包箱から取り出す際、設置場所を変更する場合等、お取り扱いに十分ご注意ください。

ご注意

作業を行う前に:

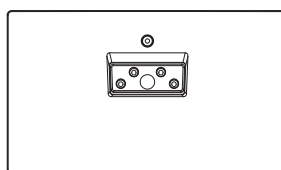
- 柔らかい布を敷いた平坦な台の上にTV本体を置いてください。
 - 液晶パネルに触れたり、押したりしないでください。圧力でガラスが破損する可能性があります。
- 付属の本体スタンド、4本のネジをご用意ください。
 - 電源コードをコンセントから抜いてください。
TV本体前面を下にして台の上に置きます。
本体スタンドを液晶パネル面に合わせます。
本体を固定しながら、スタンドをゆっくりと奥まで挿入してください。
最後に付属の4本のネジでスタンドを固定してください。

(RN-32SF10)

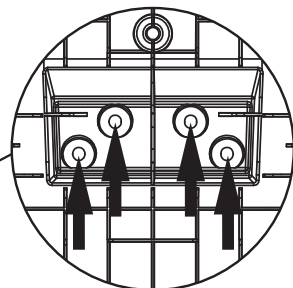
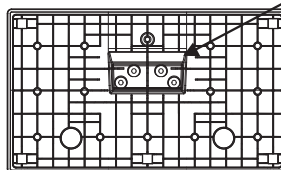


ネジ(4×18mm)4本

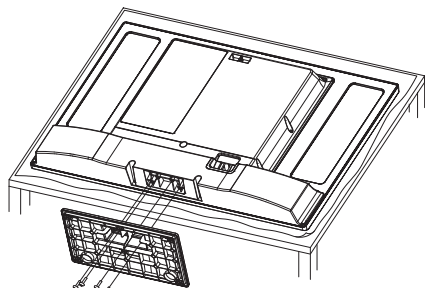
(表面)



(裏面)

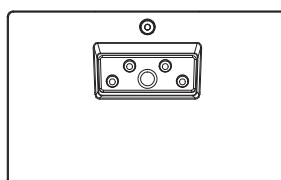


(RN-24SF10)

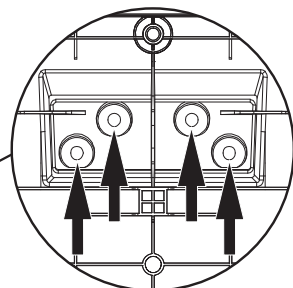
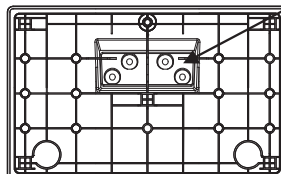


ネジ(4×18mm)4本

(表面)



(裏面)

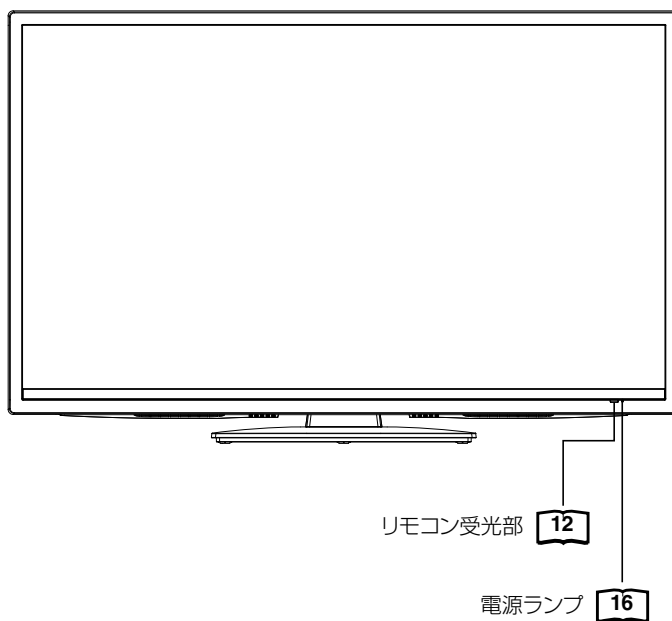


スタンドの取り外し方法

このTV本体を輸送する際には、スタンドを取り外してから、お買上げ時の箱に入れてください。
スタンドを取り付けた逆の手順で、スタンドを取り外してください。

各部のなまえ

前面

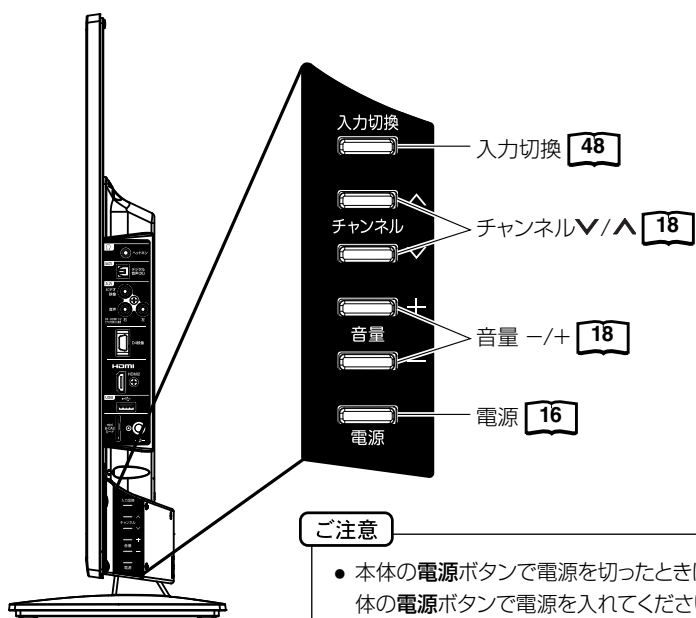


*電源ランプについて

電源オフ(本体電源オフ) : 消灯
電源オフ(リモコン電源オフ) : 赤点灯
電源オン(リモコン電源オン) : 緑点灯

スタンバイ(予約あり) : オレンジ点灯
スタンバイ録画中 : オレンジ点滅
録画中 : 緑点滅
リモコン信号受信 : 緑点滅

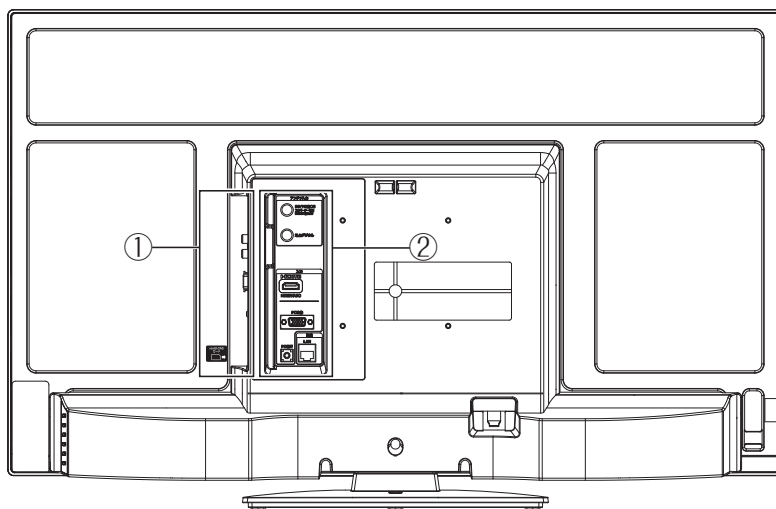
側面



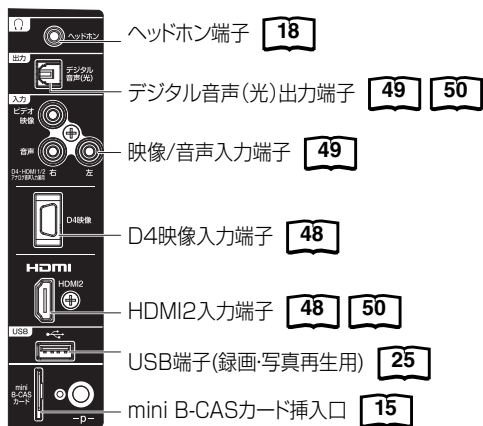
ご注意

- 本体の電源ボタンで電源を切ったときは、次回本体の電源ボタンで電源を入れてください。リモコンの電源ボタンを押しても電源は入りません。

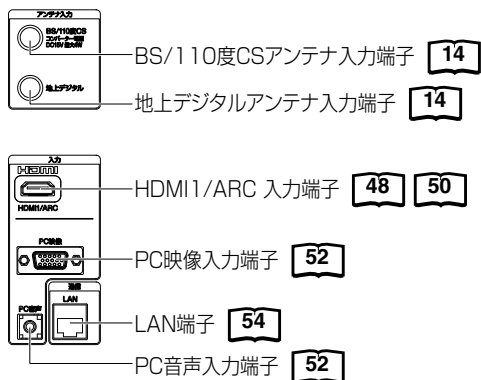
背面



①




②

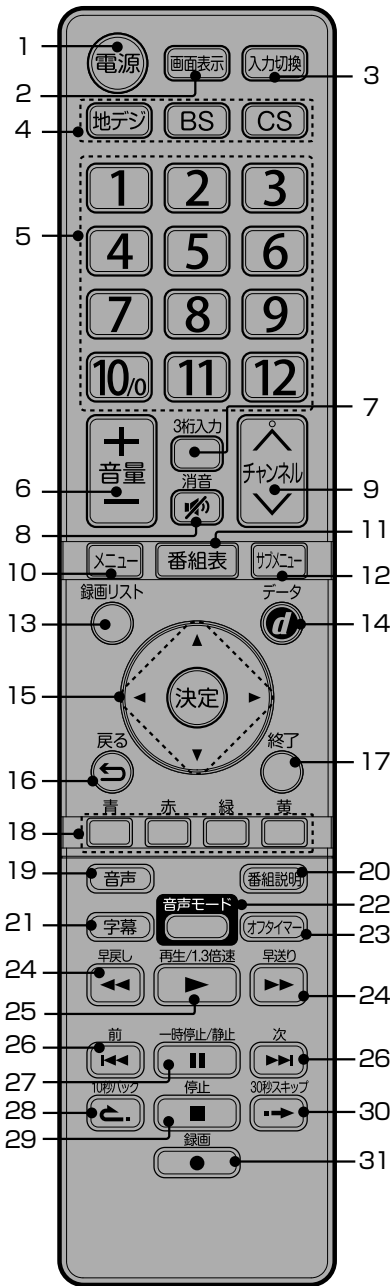


⚠ 注意

- 側面のUSB端子は、録画および写真再生用です。
- それ以外の目的(携帯電話等への充電・給電など)に使用した場合、本機または接続機器の故障の原因となることがあります。
- このような故障に関して当社は本機・接続機器いずれも一切の責任を負いかねます。

リモコンについて

*  内の数字は参照ページです。



ご注意

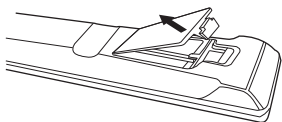
本機では、付属品のリモコンのみ使用してください。

- 1 **電源ボタン** 16
本体の電源のオン/オフに使用します。
- 2 **画面表示ボタン** 19
画面表示のオン/オフに使用します。
- 3 **入力切替ボタン** 48
外部入力の切り換えに使用します。
- 4 **地デジ/BS/CSボタン** 18
地上デジタル放送/BS/CS放送を切り換えます。
- 5 **ダイレクトチャンネルボタン** 18/**数字ボタン** 24
チャンネルの直接入力やメニュー操作、文字入力時に使用します。
- 6 **音量+/-ボタン** 18
音量の調節に使用します。
- 7 **3桁入力ボタン** 18
チャンネルなど、3桁の番号入力に使用します。
- 8 **消音ボタン** 18
消音するときに使用します。
- 9 **チャンネルへ/へボタン** 18
チャンネルを切り換えます。
- 10 **メニューボタン** 20
メニュー画面を表示します。
- 11 **番組表ボタン** 21
番組表を表示します。
- 12 **サブメニューボタン** 22
サブメニューを表示します。
- 13 **録画リストボタン** 31
録画リストを表示します。
- 14 **dデータボタン** 20
テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。
- 15 **▲/▼/◀/▶/決定ボタン**
メニュー項目の移動や、項目を確定するときに使用します。
- 16 **戻るボタン**
メニュー操作中に、一つ前の画面に戻るときに使用します。
- 17 **終了ボタン**
メニュー画面や再生からテレビ画面に切り換わります。
- 18 **青/赤/緑/黄ボタン**
メニューや、データ放送の操作時に使用します。
- 19 **音声ボタン** 19
音声の種類を切り換えます。
- 20 **番組説明ボタン** 20
視聴中の番組詳細を表示します。
- 21 **字幕ボタン** 20
字幕の表示 / 非表示を切り替えます。
- 22 **音声モードボタン** 19
音声モードを切り換えます。
- 23 **オフタイマーボタン** 20
オフタイマーを設定します。
- 24 **早送り/早戻しボタン** 31
再生時に早送り・早戻しをします。
- 25 **再生/1.3倍速ボタン** 31
再生をします。再生時に3秒以上押し続けると、1.3倍速再生します。
- 26 **次/前ボタン** 31
録画番組再生中は、スキップボタンとして働きます。
- 27 **一時停止/静止ボタン** 19 31
表示中の映像を静止または一時停止します。
- 28 **10秒バックボタン** 31
再生時に10秒早戻しをします。
- 29 **停止ボタン** 31
- 30 **30秒スキップボタン** 31
再生時に30秒早送りをします。
- 31 **録画ボタン** 27

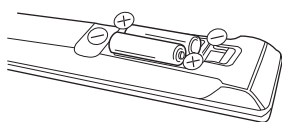
リモコンに乾電池を入れる

単4形乾電池を2本入れます。ショートを防ぐため、必ず電池のマイナス側を先に入れてください。

- 1** 電池ぶたをはずす
電池ぶたを押しながら矢印の方向に開きます。



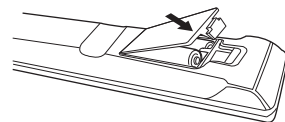
- 2** 乾電池を入れる
付属の乾電池を、リモコンの内部に書かれてある (+) / (-) の表示どおりに入れる。



ご注意

極性 (+) / (-) を間違えないように入れてください。

- 3** 電池ぶたを閉める
電池ぶたを矢印の方向に戻します。



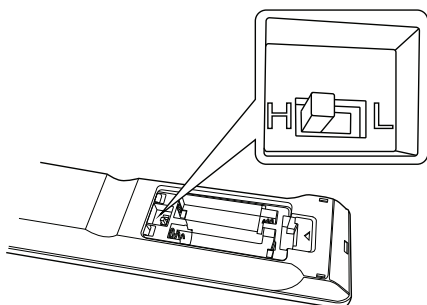
ご注意

操作しにくくなったなら2本とも電池を交換してください。

- 電池に表示されている注意事項をお読みください。
- 電池はふつうの使い方ですら6か月から1年間使えます。ただし、付属の電池は動作確認用ですので短くなる場合があります。操作しにくくなったなら交換してください。

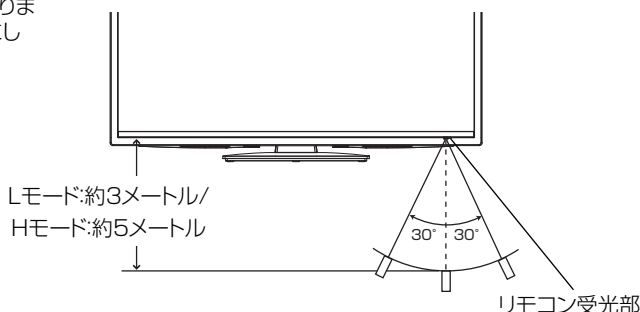
リモコンモードを切り換える

リモコンの裏蓋を開けた電池ボックス上部のスイッチにより、リモコンモードを設定できます。スイッチをH側(背面から見て左側)にすることでHモード、L側(背面から見て右側)にすることでLモードとなります。それぞれのモードではリモコンの信号の到達距離が変わります。近くのTVが誤動作してしまうようなときは、Lモードにしてご使用ください。



リモコンの正しい使いかた

- 本機前面のリモコン受光部の正面からLモード:約3メートル/Hモード:約5メートル、左30度、右30度の範囲でお使いください。



正しく動作させるために

次のような場合、リモコンが誤作動したり、働かないことがあります。

- 本体とリモコンの間に障害物があるとき
- リモコン受光部に直射日光などの強い光があたったとき

乾電池の取扱いについて

- 乾電池の使い方を誤りますと、液漏れや発熱、破裂するおそれがありますので次のことをご守りください。

警告

- 充電しない、分解しない、水中、火中に入れない、直射日光下など過度に温度の高いところに置かない
- ショートさせない

注意

- (+) / (-) の表示どおりに入れる
- 指定以外の電池を使わない
- 種類の違う電池、または新しい電池と古い電池を混ぜて使わない
- 使い切った電池はすぐに取り出す
- 長期間使わないときは取り出しておく

万一液漏れしたら

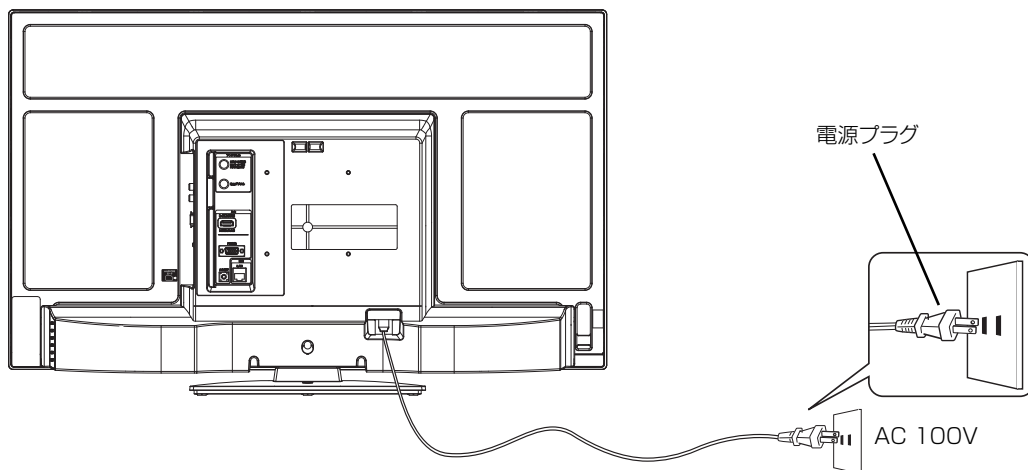
- 液をよくふき取る
- 液が皮膚や衣類に付着した場合は多量の水で洗い流す

ご注意

廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

電源について

電源コードの接続



ご注意

電源コードはしっかりと差し込んでください。



警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



注意

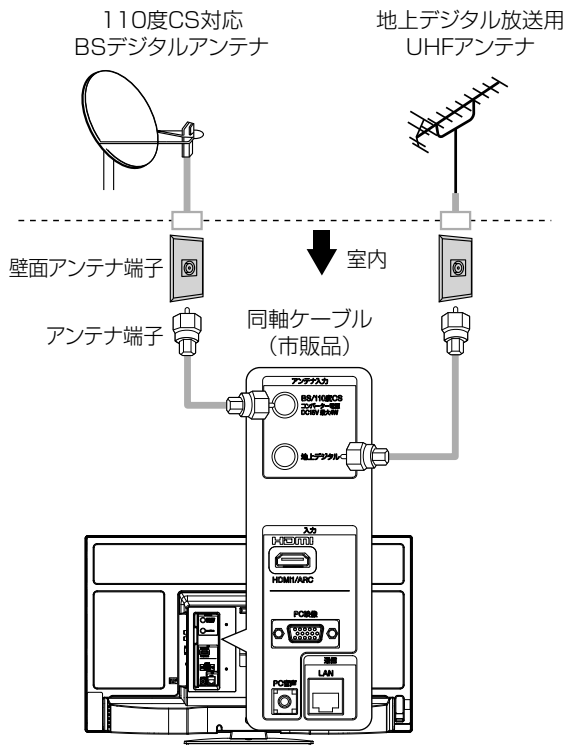
- 旅行などで長期間、本機をご使用にならないときは、安全のためかみならず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

アンテナと接続する

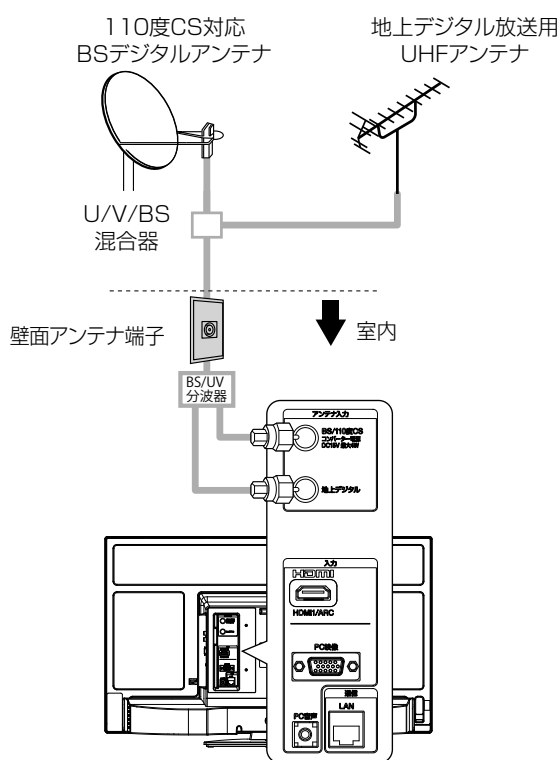
ご使用になるアンテナ線の種類により、接続の方法が異なります。アンテナ線の種類により市販品の変換プラグを取り付け本機と接続します。アンテナをつなぐときは、かならず電源を切ってください。

デジタル放送用 アンテナの接続

● UHF アンテナが個別のとき



● BS・CS が混合のとき (例：UHF/BS 混合入力)



ご注意

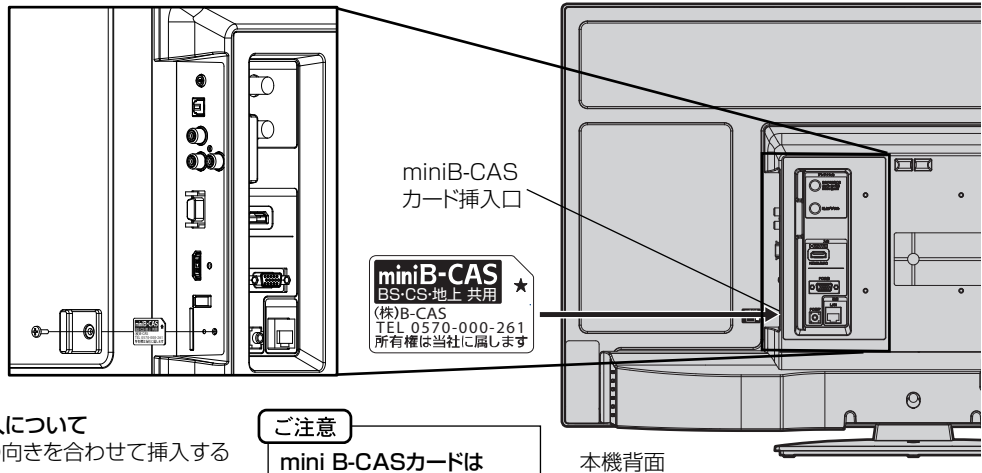
- アンテナをつなぐ際には同軸ケーブル(市販品)をご使用してください。
 - F型コネクター(ネジ式)のアンテナ線をおすすめします。本機のアンテナ端子との接触が悪いと、受信できなかったり、画像が乱れることがあります。また、コネクターは市販品をご利用いただくことを強くおすすめします。
 - 地上デジタル放送を受信するアンテナは、これまで使用していた地上アナログ放送のUHF アンテナを使用できる場合があります。ただし、現在お使いのアンテナがUHF アンテナでも、調節や取り替えが必要になることもありますので、販売店にご相談ください。
 - 従来のBS アナログアンテナでは、110度CS デジタル放送は受信できません。ただし、一部の衛星アンテナは、性能上の理由や、デジタル化に必要な機能が確保されていない場合があります。特定チャンネルが受信できなかったり、電波状況が悪いときには、お買求めの衛星アンテナの製造元やお買求めの販売店にご相談ください。
 - BS/110度CSチャンネルを視聴する前に、17ページ、42ページを参考にメニュー内の「受信設定(BS/CS)」の「アンテナ電源」の設定をしてください。
- ネジ式ではない変換プラグなどが、すでにケーブルに付いている場合は、プラグを根元から取り外し、市販品の変換プラグを取り付けるか、販売店にご相談ください。

⚠ 注意

- アンテナ工事は技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。
- 本機のアンテナ入力端子にF型コネクター(ネジ式)を接続するときは、ゆるまない程度に手で締め付けてください。ペンチ等を使用したり、過度に締め付け過ぎると本機内部が破損することがありますのでご注意ください。

B-CASカードの挿入

デジタル放送を視聴する場合には、必ず付属のminiB-CASカードを挿入してください。B-CASカードは、放送局からのメッセージ管理等のほか、著作権保護のためのコピー制御にも利用されています。



B-CASカード挿入について

- ①B-CASカードの向きを合わせて挿入する必要に応じて、
- ②付属のB-CASカードカバーを装着する
- ③付属のネジ(3×8mm)で固定する

ご注意

mini B-CASカードは
この向きに入れてください

miniB-CASカードを挿入するとき

miniB-CASカードの挿入時は、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態で挿入してください。

絵表示が見える面を本機背面外側(角が取れている部分を上向き)にして、カード表面の向きを挿入口に合せて挿入し、「カチッ」と音が鳴るまで差し込んでください。

miniB-CASカードを抜くとき

万一、抜く必要があるときは、本機の電源プラグを電源コンセントから抜いたあと、カードカバーを取り外し、「カチッ」と音が鳴るまでカードを押し、カードが出てきたらゆっくり抜いてください。

B-CASカードにはIC(集積回路)が組み込まれているため、画面にB-CASカードに関するメッセージが表示されたとき以外は、抜き差しをしないでください。

B-CASカードについて

本機に付属の miniB-CASカードには1枚ごとに違う番号(B-CASカード番号)が付与されています。

B-CASカード番号はお客様の有料放送契約内容などを管理するために使われている大切な番号です。

〔(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター〕への問い合わせの際にも必要となります。

B-CASカード取り扱い上の注意点

- ・ B-CASカードを折り曲げたり、変形させないでください。
- ・ B-CASカードの上に重いものを置いたり踏みつけたりしないでください。
- ・ B-CASカードに水をかけたり、ぬれた手でさわらないでください。
- ・ B-CASカードのIC(集積回路)部には手をふれないでください。
- ・ B-CASカードの分解加工は行わないでください。
- ・ ご使用中にB-CAS カードの抜き差しはしないでください。デジタル放送が視聴できなくなる場合があります。
- ・ B-CASカード挿入口にB-CASカード以外のものを挿入しないでください。故障や破損の原因となることがあります。
- ・ 裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違るとB-CASカードは機能しません。
- ・ カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

メモ

B-CASカードについてのお問い合わせは、こちらにお願いいたします。
(株)ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL 0570-000-261

警告

- このカードは常時受信機器に装着して使用し、小さいお子様にふれさせないようにしてください。誤って飲み込むと、窒息またはけがのおそれがあります。
- 万一、飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。

準備

はじめての設定のしかた

最初に電源を入れたときは、自動的に「はじめての設定」が表示されます。画面の案内に従い、順次設定を行ってください。



メモ

はじめての設定を再度行いたい場合は...

1. メニューを押してメニュー画面を表示させます。
2. ▲/▼で「初期設定」[はじめての設定]の順に選択します。各選択の確定には、**決定**を押します。

ご注意

- 最初に電源を入れたときの「はじめての設定」は、完了するまでメニューで抜ける事ができません。途中で電源を切った場合は、次回電源を入れたとき再び「はじめての設定」に入ります。
- 画質の調整で「スタンダード」を選択した場合は「無信号自動電源オフ」は「オン」、「ダイナミック」を選択した場合は「オフ」に設定されます。

準備

- アンテナを正しく接続してください。(14ページを参照してください。)
- B-CASカードを本機に挿入してください。(15ページの「B-CASカードの挿入」を参照してください。)
- お好みによりLANケーブルを本機に接続してください。(54ページを参照してください。)

1 電源で電源を入れる。
電源ランプが緑で点灯します。

2 「はじめての設定」が表示されます。
画面の内容を確認した後**決定**を押す。

はじめての設定

ご購入ありがとうございます。
正しくお使いいただくために各種設定を行います。

◀▶ 決定 ▶▶ 次へ

3 「LANケーブルの接続」「アンテナ線の接続」「B-CASカードの挿入」の確認をする。
接続の確認が終了後、**決定**を押す。

4 画質の調整を設定します。
◀/▶で「スタンダード」または「ダイナミック」を選び、**決定**を押す。

5 お住まいの地域の郵便番号を入力します。
数字ボタン(0~9)で7桁の郵便番号を入力し、**決定**を押す。

6 お住まいの都道府県を入力します。
◀/▶で都道府県を選び、**決定**を押す。

7 B-CASカードのテストを行います。
決定を押す。画面に「テストが正しく終了しました。」と表示されたら、再度**決定**を押す。

- 「B-CASカードが正しく挿入されていません。」と表示されたときは、15ページの「B-CASカードの挿入」を参照の上、B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。

8 地上デジタルチャンネル設定を行います。
決定を押す。

- ◀/▶で地域を選び、**決定**を押す。
- ◀/▶で受信帯域(「UHF」または「全帯域」)を選び、**決定**を押す。
チャンネルスキャンが自動的に始まります。スキャン終了後、スキャンされたチャンネル一覧と「チャンネル設定修正/アンテナレベル確認」画面が表示されます。◀/▶で「次へ」を選び、**決定**を押します。
リモコンに自動的に割り当てられたチャンネルを入れ換えたいときや各チャンネルの受信レベルを確認したいときは、◀/▶で「修正する/確認する」を選び、**決定**を押し、画面の案内に従い操作します。



BS/CSアンテナへの電源供給を選択します。

◀/▶ で「アンテナ電源オフ」、「アンテナ電源オン」または「接続しない」を選択し、**決定**を押す。

- 「アンテナ電源オフ」:マンションやCATVなどの共同アンテナを利用している場合、またはすでに別の機器から連動設定している場合。
- 「アンテナ電源オン」:家庭用等のBSアンテナを個別に設置している場合。
- 「接続しない」:BS・CSアンテナを接続していない場合。

「アンテナ電源オフ」、「アンテナ電源オン」の設定完了後、画面に「正しく設定されました。次へお進みください。」と表示されたら、**決定**を押す。

9

10

画面の案内に従い、**決定**を押す。

11

画面に「はじめての設定はこれで終わりです。」と表示されたら、**決定**を押す。

準備

テレビを見る

準備ができたらすぐにテレビを見ることができます。リモコンで離れたところから操作できます。



ご注意

- リモコンの電源ボタンで電源を切っても、微小な電気を使っています。長期間の外出やご旅行のときなどは、安全と節電のために電源プラグを抜いてください。
- テレビ放送が終了したあと、電源を入れたままにしておいても、約10分で電源を自動的に切る機能があります。(40ページ「無信号自動電源オフ」参照。)

1 電源

電源ランプが緑で点灯します。前に見ていたチャンネルが映ります。押すごとに電源をオン/オフできます。

2 地デジ/BS/CS

でお好みの放送を選ぶ。

ダイレクトチャンネルボタン(1~12)でチャンネルを選ぶ。

画面上部に、選んだチャンネルが表示されます。

チャンネル \wedge / \vee でも選べます。

押すごとに、チャンネルが設定されている順に1つずつ変わります。押し続けると連続して変わります。

● 3桁番号を入力するには、**3桁入力**を押して次に**数字ボタン(0~9)**でチャンネル番号を押します。

例 011チャンネル「0」、「1」、「1」を押す。

サブメニューを押し、「3桁入力選局」を選んででも入力できます。

● 枝番のあるチャンネルを選局するには、**サブメニュー**を押し、「枝番選局」で選局します。

● 110度CSデジタル放送は、入会金と月々の会費が必要となる、有料放送です。お楽しみになるには、加入申し込みが必要となります。BSデジタル放送では、WOWOWやスターチャンネルなどが、視聴した月や番組に応じた有料放送となります。加入申し込み方法などは、BSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社などにより異なります。詳細はご関心になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。

● BS・110度CSデジタル放送をご覧になるには、BS・110度CSデジタル放送用のアンテナが必要です。

● BS・110度CSデジタル放送受信については、アンテナケーブルや分配器、ブースター等の機器の影響を受けやすくなっています。現在ご使用のBSアンテナで今まではBS放送が映っていても、BS・110度CSデジタル放送が映らない場合があります。その場合は販売店等にご相談ください。

● 接続されている外部機器の映像を見るときは、**入力切替**を押して入力を選んでください。

3 音量+/-

で音量を調節する。

音量が数字と  (バー) で画面に表示されます。

音量+を押すごとに音量が大きくなり、

音量-を押すごとに音量が小さくなります。



4 音だけを消したいとき

消音を押す。

もう一度押すと元の音量に戻ります。(音量+/-を押しても音が出ます。)

ヘッドホンでお聞きになるとき

市販のヘッドホンヘッドホン端子に差し込みますと、スピーカーの音が消え、ヘッドホンで聞くことができます。

イヤホンでもお聞きになれますが、音声多重放送の場合、左の音声優先され聞こえます。

ヘッドホン/スピーカーの両方から音を出すこともできます。詳細は39ページの「ヘッドホン音声設定」を確認してください。

ご注意

ヘッドホンでお聞きになるときは、大音量で長時間、聞きすぎると聴力に悪い影響を与えることがあります。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



画面を一時的にとめたいとき

一時停止/静止を押す。

表示中の映像が静止します。

一時停止/静止をもう一度押すと通常の映像に戻ります。

- 静止中も映像は進んでいきますので、静止から通常表示に戻した場合、その間の映像はスキップされます。
- **チャンネルへ/へ、ダイレクトチャンネルボタン、入力切替**でチャンネルを切り換えたり、メニューを開いたりすると、通常の映像に戻ります。
- 音声や字幕は停止しません。
- 外部入力では、静止できません。

チャンネル番号を表示したいとき

画面表示を押す。

チャンネル番号を消すには、画面表示を再度押します。

- 地上デジタル放送/BS/CSのときは、チャンネル情報や時計などが表示されます。HDDに録画しているときは、録画チャンネルも表示します。表示は約5秒後に自動的に消えます。
- 外部入力のときは、「外部入力表示」(41ページ)で登録した各入力の名称が表示されます。
- 表示される時計表示は、10秒程度遅れる場合があります。(遅れは、通算されることはありません。)

ブルーライト軽減モードについて

メニュー内の「映像設定」→「色温度」の「ブルーライト軽減」を選択すると、ブルーライトガード軽減に切り換わります。

ブルーライトとは、可視光線のうち、波長が380~495nmの領域にある青色の光のことです。

液晶テレビを視聴中に目が疲れる原因として、液晶ディスプレイが発する青色の光「ブルーライト」が挙げられています。ブルーライト軽減モードにすることで、青色の光を抑えることができます。

音声モードを切り換える

視聴する映像に適した音やお好みに合わせた音質を選ぶことができます。

音声モードを押す。

押す度に音声モードが切り換わります。

音声モード おすすめ



- メニュー内の「音声設定」→「音声モード」でも切り換えることができます。(39ページ参照)

おすすめ : 標準の設定です。

ミュージック : メリハリが効いた音質になります。

はっきり音声 : 音声の明瞭度を向上することができ、人の声が聞きやすくなります。

お好み設定 : お好みに合わせて調整できます。

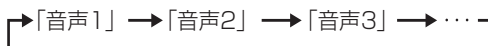
ステレオ、音声多重放送について

複数の音声がある場合は**音声**を押して音声を切換えることができます。

音声多重放送を受信しているとき



2つ以上の音声を含む放送を受信しているとき



- 受信する放送によって音声表示が異なる場合があります。

メモ

音声多重放送とは

たとえば、洋画番組の二重音声放送時、日本語に吹き替えられる音声を主音声、外国語のままの音声を副音声といいます。放送によっては、主音声が外国語の場合もあります。



メモ

- 複数の字幕がある場合は、メニュー内の「初期設定」→「表示の設定」→「字幕の設定」またはサブメニュー内の「信号切換」→「字幕言語」で設定します。

ご注意

- 独立データ放送を視聴するときは、「選局対象」を「全チャンネル」に設定してください。(43ページ参照)

オフタイマーを設定する

オフタイマーを設定しておくことで、設定した時間になると自動的に電源を切ることができます。おやすみ前に便利な機能です。

オフタイマーを繰り返し押し、お好みの設定時間(オフ/30分後/60分後/90分後)を選びます。

- サブメニュー内の「オフタイマー」でも設定できます。

オンタイマーを設定する

設定した時刻になると、自動的に電源が入ります。時刻の他、音量・放送/入力・チャンネルを設定できます。

1. **メニュー**を押して、▲/▼で「タイマー設定」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼で「オンタイマー」を選び、**決定**を押す。
3. 「オンタイマー」の設定が「オフ」の状態では各項目の設定を行う。
4. 設定が終わったら、「オンタイマー」の設定を「オン」にする。

- オンタイマーが働くと、オフタイマーの設定が自動的に60分後に設定されます。続けてご覧になるときは、オフタイマーの設定を「オフ」に設定してください。

字幕の設定をする

字幕のある番組で、「オン」を選ぶと字幕を表示します。

字幕を押す。

押す度に「オン」と「オフ」が切り換わります。

- メニュー内の「初期設定」→「表示の設定」→「字幕の設定」→「字幕」でも設定できます。

音声を切り換える

音声を押す。

押す度に音声が切り換わります。

- サブメニュー内の「信号切換」→「音声」でも切り換えることができます。
- 音声の種類が少ないときは、切り換えることができません。

番組情報を見る

地上デジタル放送/BS/CSの番組を視聴中に**番組説明**を押す。

番組詳細情報が表示されます。

- ▲/▼で画面に入りきらない情報を表示することができます。
- 青/赤で、番組詳細情報の「属性」と「内容」を切り替えることができます。番組詳細情報を閉じたいときは、**戻る**または**番組説明**を押す。

データ放送を視聴する

データ(**d**)を押す。

番組に連動したデータ放送を表示します。

- テレビ放送に連動したデータ放送がある場合は、連動データ放送が視聴できます。データ放送ではメニュー画面によって操作方法が異なります。▲/▼/◀/▶や**決定**、**青**・**赤**・**緑**・**黄**などのボタンで操作します。

独立データ放送を視聴する

1. **地デジ**/BS/CSで放送の種類を選ぶ。
2. **チャンネル**▲/▼、**ダイレクトチャンネル**または**番組表**で、お好みの独立データ放送チャンネルを選ぶ。

番組表をつかう

番組表を押すことで、テレビ番組表が表示されます。

※番組表情報をダウンロードするには、多少時間がかかることがあります。

地デジ番組表							6月21日(水) 15:19
21水 22木 23金 24土 25日 26火 28水							
6月21日(水) 17:00~18:00							世界のペットたち大集合
1	2	3	4	5	6	7	
AIQ放送	BJR放送	CKS放送	DLT放送	EMU放送	FNV放送	GOW放送	
00 011 00 純粋堂介のニュース スタジオエスト	00 021 00 教育の現場〜ゆとり教育の30ウルトラキッズ大行進	00 031 00 格闘スペシャル「世界最強バトル勃発」 伝統の柔術家が、不敵のキックボクサーが、最強のプロレスラー	00 041 00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 051 00 特撮名作時代劇 動前恋恋編③	00 061 00 韓国ドラマ「流水の別れ」	00 071 00 韓流人気ドラマ「夕陽の果てに」	15時
15時	16時	17時	18時	19時	20時		15時
00 今日の世界のニュース「米・英・仏の日本在住ジャーナリストに聞く」	00 世界のニュース「ヨガのすすめ」	00 2人の名探偵「5番殺人事件」 25年前に起きた迷宮事件	00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 スーパーキングの大冒険	00 世界の道跡	00 クイズDEクイズ	16時
00 地球サイエンス「地球誕生の秘密に迫る! 驚異の2時間スペシャル」 司会・大野幸太郎	00 アニメスペシャル「妖怪おっぺ vs 魔王ゴン」	00 2人の名探偵「5番殺人事件」 25年前に起きた迷宮事件	00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 スーパーキングの大冒険	00 世界の道跡	00 クイズDEクイズ	17時
00 世界の歌 旅情漂うスコットランド民謡	00 ケン&マツの本音「日も笑い飛ばします」	00 2人の名探偵「5番殺人事件」 25年前に起きた迷宮事件	00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 スーパーキングの大冒険	00 世界の道跡	00 クイズDEクイズ	18時
00 テレビ連版	00 スポーツニュース「東京ドーム試合結果」	00 2人の名探偵「5番殺人事件」 25年前に起きた迷宮事件	00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 スーパーキングの大冒険	00 世界の道跡	00 クイズDEクイズ	19時
		00 2人の名探偵「5番殺人事件」 25年前に起きた迷宮事件	00 今日のお昼はこれにしよう〜熱海30アートで遊ぼう	00 スーパーキングの大冒険	00 世界の道跡	00 クイズDEクイズ	20時

アイコンについて

予 (青色) : 視聴予約された番組

予 (赤色) : 録画予約された番組

録 : 自動録画予約された番組

- 緑/黄で前日/翌日(8日分)への表示の切り換えができます。
 - 地デジ/BS/CSで各放送の種類切り換えができます。
 - 番組表に表示されていない番組があるとき、番組と番組の間に青い線が表示されます。▲/▼/◀/▶で青線のある番組を選び、▲/▼を押すと番組を表示します。
 - 放送時間の長い番組や、番組名の短い番組では、番組名のあとに番組説明が表示されます。
 - ▲/▼/◀/▶で番組を選び、決定を押すと、選択している番組の番組詳細が表示されます。ここで今すぐ見たい番組に切り換えたり、録画予約/視聴予約もできます。
- 青/赤で、番組詳細情報の「内容」と「属性」を切り替えることができます。

メモ

- 本機では、電源オフ(スタンバイ)状態にしておくと、毎日午前3時頃に番組表の自動更新を行います。自動更新されると番組表が早く表示されます。



録画予約をする

詳細は27ページをご覧ください。

- 開始時刻になると予約した番組を録画します。

視聴予約をする

開始時刻になると予約したチャンネルを選局します。

1 番組表を表示中に ▲/▼/◀/▶ で視聴予約したい番組を選び、**決定**を押す。

◀/▶ で画面左下の「視聴予約」を選び、**決定**を押す。

録画予約

視聴予約

2 ● USB HDDを接続していないときは、「録画予約」は表示されません。
● 開始時刻になると予約したチャンネルを選局します。
● 電源オフ(スタンバイ)状態で開始時刻になった場合は、視聴予約は実行されません。

予約の確認・削除をする

予約内容を確認したいとき

サブメニューを押し、▲/▼で「予約リスト」を選び、**決定**を押す。設定した録画予約・視聴予約の予約リストが表示され、予約内容を確認することができます。

- 予約を選んで**決定**を押すと、予約内容(「内容」「属性」「お知らせ」)が表示されます。青(前項)・赤(後項)で切り換えます。



予約の種類/内容/状態が、予約リスト右側にアイコンで表示されます。

予約を削除したいとき

1 予約リストを表示中、▲/▼ で予約リスト内の削除/取り消したい予約を選び、**黄**を押す。

2 確認画面中 ◀/▶ で「はい」を選び、**決定**を押す。
● 削除/取り消された予約は、予約リストから削除されます。

メモ

- 日時を指定して視聴予約が可能です。「メニュー」→「タイマー設定」→「日時指定予約」を操作して予約します。(40ページ)
- 予約内容を修正したいときは、29ページの「予約内容の変更をする」をご確認ください。
- 予約リスト表示中にサブメニューを押すと「全履歴削除」画面が表示され、**決定**を押すと完了した予約がリストから削除されます。



番組を検索する

番組表を表示中に、ジャンル別による番組の検索を行うことができます。

1

番組表を表示中に**サブメニュー**を押す。

▲/▼で「番組の検索」を選び、**決定**を押す。
表示された「番組の検索」画面で、再度**決定**を押す。

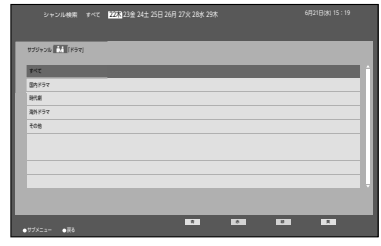
- メインジャンル画面が表示されます。



2

▲/▼で検索したいメインジャンルを選び、**決定**を押す。

- サブジャンルが画面表示されます。



3

▲/▼で検索したいサブジャンルを選び、**決定**を押す。

- 検索結果が表示されます。
- 緑/黄**で前日/翌日(8分)への表示の切り換えができます。



4

5

▲/▼でお好みの番組を選び、**決定**を押す。

- 番組詳細画面が表示されます。録画予約や視聴予約ができます。

基本操作

メモ

検索結果が多すぎる場合や検索に時間がかかる場合は、検索範囲を変更することができます。

1. ジャンル検索画面を表示中に**サブメニュー**を押す。
2. ▲/▼で「表示内容」を選び、◀/▶で「全チャンネル」、「設定チャンネル」または「テレビのみ」を選ぶ。
全チャンネル: テレビやデータ放送など、全てのチャンネル
設定チャンネル: 「設定チャンネル」で設定したチャンネル
テレビのみ: テレビのチャンネルのみ



視聴制限を一時的に解除する

- 1 サブメニューを押し、▲/▼ で「視聴制限一時解除」を選び、**決定**を押し。
● 「暗証番号入力」画面が表示されます。
- 2 数字ボタン(0~9)で暗証番号を入力する。
● 視聴制限が一時的に解除され、番組を視聴できます。

番組データを取得する

番組表に表示されない放送局がある場合、番組データを取得します。

- 1 番組表を表示中に**サブメニュー**を押し。
- 2 ▲/▼ で「番組データ取得」を選び、**決定**を押し。

表示チャンネルの範囲を変更する

表示チャンネルをお好みにより変更できます。

- 1 番組表を表示中に**サブメニュー**を押し。

▲/▼ で「表示内容」を選び、◀/▶ で「全チャンネル」、「設定チャンネル」または「テレビのみ」を選ぶ。
全チャンネル: テレビやデータ放送など、全てのチャンネル
設定チャンネル: 「設定チャンネル」で設定したチャンネル
テレビのみ: テレビのチャンネルのみ
- 2

USB HDD録画機能について

市販の外付けUSB HDD(ハードディスク)を本機に接続すれば、本機で受信したデジタル放送番組を録画することができます。

録画できる機器と番組

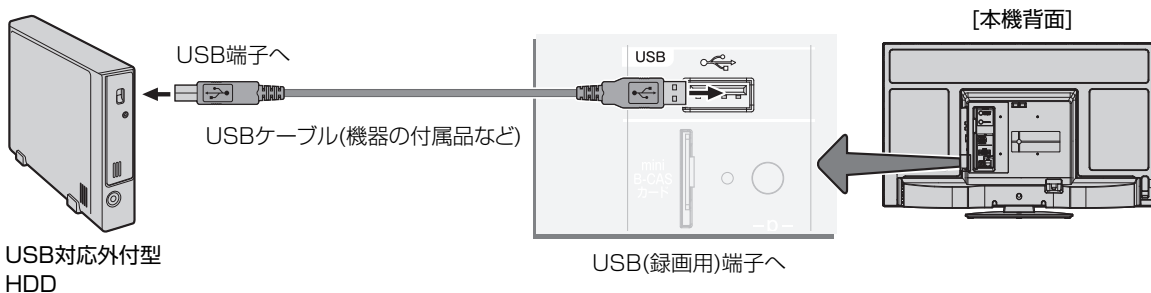
本機に接続できるHDD	160GB以上のUSB HDD(ただしUSB2.0対応品に限ります) ※ 接続確認済みUSB HDDはホームページでご確認ください。 http://www.orion-electric.co.jp/jp/tv_series/product-usbhdd/
本機で録画できる番組	地上デジタル放送、BS/CSデジタル放送

(機能の特長)

- デジタル放送番組のみ録画可能(外部入力録画できません)。
- 視聴中の番組放送をワンタッチ録画。
- 番組表からの予約録画が可能。
- レジューム再生/追いかけて再生機能。
- HDD/1TBで、地上デジタル放送の場合約120時間録画可能。
- 地上/BS-CSデジタル、ダブルチューナー
お好きな番組を見ながら、裏番組を録画できるので、同じ時間に見たい番組が重なった時に便利です。
※デジタル放送を録画中に、別のデジタル放送は録画できません。
- 録画したTV/HDDの組み合わせでのみ再生可能。
- USBメモリー等、HDD以外の外部機器には録画できません。
- 特殊形状のUSBケーブルをご使用の場合、USB入力端子に入らない場合があります。この場合は市販のUSB延長ケーブルをご使用ください。
- 1.3 倍速再生
再生ボタンを長押しすると、音声を流したまま 1.3 倍の早さで再生。録画番組を短い時間で視聴できます。
- オートチャプター
録画番組を自動でチャプター分割し、見たいシーンから素早く再生することができます。

USB HDDの接続

市販のUSBケーブルで、本機側面の USB入力端子に接続します。



USB対応外付型
HDD

USB(録画用)端子へ

[本機背面]

USB HDDを登録する

本機に未登録のUSB HDD を接続するとUSB HDDの登録画面が表示されます。

1. ◀/▶ で「はい」を選び、**決定**を押す。
2. 確認画面で「はい」を選び、**決定**を押す。
● 登録作業が実行され、USB HDDは初期化されます。
3. 表示名を変更したい場合は「はい」を選び、**決定**を押す。
(46ページ参照)

変更しない場合は「いいえ」を選び、**決定**を押す。
これでUSB HDDの登録は終わりです。

USB HDDを取り外す

本機に接続したUSB HDDの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりする場合は、取り外しの操作を行います。

1. メニューを押し、▲/▼ で「初期設定」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼ で「USB機器管理」を選び、**決定**を押す。
3. ▲/▼ で取り外したいUSB HDDを選び、**青**を押す。
「この機器は安全に取り外しできます。」と表示されたら、USB HDDを取り外します。

- 登録を削除したい場合は、**黄**を押します。登録を削除すると、USB HDD内の番組は再生できなくなります。登録を削除したUSB HDDを再度使用する場合は、左の「USB HDDを登録する」を参照してください。

USB HDD録画機能について (つづき)

デジタル放送の著作権保護について

- 本機では、著作権保護によりコピー禁止の情報が付加されている放送番組や映像ソフトは、録画することができません。

USB HDDに録画するときのご注意について

- 電源ボタンを押してから、USB HDD が起動するまでは、録画などの USB HDD をアクセスする操作はできません。準備中のメッセージが出る場合は、しばらく待ってから操作してください。
- 本機は、デジタル放送を2番組同時に録画または予約録画できません。
- ラジオ放送およびデータ放送は、録画することができません。
- USB HDD の残量が約 120 分以下になると録画開始時にメッセージが表示されます。
- 録画中に停電になった場合、停電前 30 秒間の映像・音声は記録されません。
- 録画を一時停止することはできません。
- 録画開始から約 5 秒以内に録画を停止した場合は、録画は保存されません。
- HDMI1、2 入力、D4 映像入力、ビデオの映像入力 (コンポジット)、PC の録画はできません。
- テレビ放送に連動したデータ放送は TS モードで録画されますが、録画したあとで再生した場合、データ放送の内容によっては操作できない場合があります。
- デジタル放送において、受信状況が悪い状態 (画面に四角のノイズ (ブロックノイズ) が出たり、映像、音声途切れたりする状態) で録画を行なうと、電波の異常が原因により録画の先頭が切れたり、途中で録画が途切れたりすることがあります。またこの場合、録画時間表示と実際の再生時間が異なる場合があります。
- 録画する放送の内容によっては、残量表示時間より録画できる時間が短くなる場合があります。
- デジタル放送の録画では、放送番組毎に録画番組の情報が登録されます。
- 録画中に録画が禁止されている番組または映像になると録画を停止します。それまでの内容が HDD に録画されます。
- 保存できる録画番組の数は、最大 3000 個です。
- 録画予約の操作については「番組を予約録画する」(27 ページ) をご覧ください。
- 停電などの原因により録画が途中で中断された場合、番組表から録画予約された場合を除き、再び電源を入れても録画は再開されません。また、録画された番組を正しく再生できないことがあります。
- 番組表 (21 ページ) を表示しているときは、録画操作はできません。
- 録画中は、メニュー、番組表、再生リストなどの画面表示の動作が遅いときがありますが、故障ではありません。
- メニュー等の画面表示部分は、録画されません。
- 録画した番組を再生中に、番組説明を表示することはできますが、表示される内容は放送されている情報の一部となります。
- パソコンで使用していた USB HDD を本機に接続して登録すると、USB HDD に保存していたデータはすべて消去されます。
- 本機に接続した USB HDD の登録・初期化をするときは、25 ページの「USB HDD を登録する」を参照の上行ってください。
- 本機に接続した USB HDD の取り外しや登録を削除するときは、25 ページの「USB HDD を取り外す」を参照の上行ってください。
- 本機で使用した USB HDD をパソコンで使用するには、パソコンで初期化する必要があります。初期化した場合は、USB HDD に録画した番組はすべて消去されます。初期化の方法は、お手持ちのパソコンの取扱説明書やホームページをご覧ください。
- USB HDD の動作中は、USB HDD の電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたり、本体の電源ボタンで電源を「オフ」しないでください。USB HDD が故障したり、録画内容が損なわれることがあります。
- 最大 8 台までの USB HDD を登録できます。ただし、一度に接続できるのは 1 台です。
- USB HDD の容量が 160GB (ギガバイト) 未満の場合は使用できません。
- USB ハブを経由して USB HDD を使用することはできません。
- USB HDD に録画した番組は、本機でしか再生できません。他のテレビ (同じ形名のテレビも含みます) やパソコンなどに接続して再生することはできません。
- 好きな番組を見ながら、裏番組を録画できるので、同じ時間に見たい番組が重なった時に便利です。
- USB HDD を登録するとき、また登録を削除して再度登録するときは、初期化が行われるため録画した番組は見ることができなくなります。

番組を録画する



準備

- USB HDDを接続します。(接続方法は25ページをご覧ください。)
- 電源ボタンを押して、電源を入れます。

見ている番組を録画する

デジタル放送を見ているときに**録画**を押す。録画が開始されます。

1

- 番組終了または3時間録画に録画が停止します。
「メニュー」→「初期設定」→「録画設定」→「録画ボタン設定」で選べます。

2

録画を中止するには、録画中に**■(停止)**を押すと、録画中止の画面を表示します。録画中止の画面で**◀/▶**で「はい」を選び、**決定**を押すと録画停止します。

番組を予約録画する

1

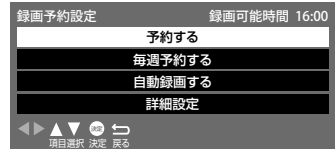
番組表を押す。
番組表が表示されます。

2

番組表を表示中に **▲/▼/◀/▶** で録画予約したい番組を選び、**決定**を押す。番組内容が表示されます。

3

◀/▶ で「録画予約」を選び、**決定**を押す。
録画予約設定画面が表示されます。



基本操作

メモ

オートチャプターについて


オートチャプター機能を「オン」に設定しておく、録画番組を自動でチャプター分割し、見たいシーンから素早く再生することができます。(41ページ参照)

ご注意

- 「番組終了」を選択すると、番組終了時刻まで録画を行ないません。
- 録画または予約録画中に、リモコンの**電源**ボタンで電源を「スタンバイ」にしても録画を続けます。
- 追いかけて再生や同時に録画、再生を行っている場合は、録画の設定、解除することはできません。一度再生を停止してください。
- 録画中に予約録画の開始時刻になった場合は、録画を停止して録画予約を開始します。
- 本体の**電源**ボタンで電源を切ったときは、録画予約が動作しません。
- 録画中に本体の**電源**ボタンで電源を切ったときは、録画が中断されます。


選んだ番組だけを録画予約したいとき

▲/▼ で「予約する」を選び、**決定**を押す。

- 番組表中、予約した番組に  (赤色) アイコンが付きます。
- 最大で64件まで録画予約できます。


毎週予約したいとき

毎週同じ時間帯に放送される番組を録画予約します。

1. ▲/▼ で「毎週予約する」を選び、**決定**を押す。
2. 確認画面で、◀ で「はい」を選び、**決定**を押す。
 - 番組表中、予約した番組に  (赤色) アイコンが付きます。

自動録画したいとき

放送チャンネル・時間帯・番組名などから同じシリーズの番組を自動的に予約します。放送日や放送時間が同じでなくても予約されます。

1. ▲/▼ で「自動録画する」を選び、**決定**を押す。
2. 確認画面で、◀ で「はい」を選び、**決定**を押す。
 - 番組表中、予約した番組に  アイコンが付きます。
 - 最大で24件まで自動録画予約できます。
 - 番組名が極端に短いときや大幅に異なるときは、自動予約が行われない場合があります。
 - 自動録画を設定した番組が1日に複数回放送されるときは、1回だけ自動録画されます。
 - 自動録画を設定してから次の予約が設定されるまで、1日かかかる場合があります。
 - 次の放送開始時間が90分以上前後する場合は、自動録画が設定されない場合があります。
 - 接続したUSB HDDの状態(起動中や処理中など)によっては、自動録画が行われない場合があります。
 - 「メニュー」→「初期設定」→「録画設定」→「自動予約」→「オフ」を選択すると、自動録画を一時的に止めることができます。

録画予約を詳細設定したいとき

1. ▲/▼ で「詳細設定」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼ で「その他の設定」を選び、**決定**を押す。
 - ◀/▶ で録画番組のプロテクトを「する」「しない」を選ぶ。
 - 録画番組へのプロテクト解除 設定は、録画リストで行えます。
 - 「日時指定予約へ」を選ぶと、日時指定予約の設定画面になります。
3. 戻るを押して録画予約設定画面に戻り、◀/▶ で「予約する」を選び、**決定**を押す。

日時を指定して録画予約したいとき

1. メニューを押し、「タイマー設定」を選び、**決定**を押す。
2. ▲/▼ で「日時指定予約」を選び、**決定**を押す。
3. お好みにより、各項目の設定をする。
 - 予約方式: 「録画予約」(「視聴予約」を選ぶと、視聴予約の日時指定予約ができます。)
 - 放送種別/チャンネル: 放送種別(地上デジタル/BS/CS)とチャンネル
 - 曜日/日: 録画予約したい日付
 - 開始時刻: 録画予約の開始時刻の設定
 - 終了時刻: 録画予約の終了時刻の設定
 - その他の設定: 録画番組のプロテクト設定
 - 曜日/日の設定期間は、最大1年間です。また、毎週/毎日の予約ができます。
4. 設定完了後、▲/▼ で「予約する」を選び、**決定**を押す。

ご注意**● 連続録画予約時のご注意**

番組表では放送時間が重なっていても、番組によっては放送開始時刻または終了時刻が秒単位になっているため、すでに予約設定している番組と放送時間が重なり予約できないことがあります。

このようなときは、マニュアル予約で前の予約番組の終了時刻を1分早めるなどにより、予約時間が重ならないようにしてください。

- 予約実行時、B-CAS カードが挿入されていない、またはB-CAS カードの条件によっては予約実行されません。
- 予約する番組が視聴制限の対象になる場合、制限解除画面が表示されます。
- 予約が登録されると本体前面のランプが橙色に点灯(スタンバイ時で予約ありの場合)します。また録画中は緑点滅(電源オン時)またはオレンジ点滅(スタンバイ時)します。
- 時間が連続した予約録画を行うと、前の予約録画が1分間早く終了する場合があります。
- USB HDDに**電源ボタン**がある場合は、電源を「入」にしてください。
- 外部入力の場合は、録画できません。



予約の確認・削除をする

予約内容を確認したいとき

サブメニューを押し、▲/▼で「予約リスト」を選び、**決定**を押し。設定した録画予約・視聴予約の予約リストが表示され、予約内容を確認することができます。

- 赤を押すと、自動録画の予約のみ表示されます。青を押すと、全ての予約が表示されます。
- 予約を選んで**決定**を押すと、予約内容（「内容」「属性」「お知らせ」）が表示されます。青（前項）・赤（後項）で切り替えます。

予約を削除したいとき

予約リストを表示中、▲/▼で予約リスト内の削除/取り消ししたい予約を選び、**黄**を押す。



予約の種類/内容/状態が、予約リスト右側にアイコンで表示されます。

1

2

- 確認画面中 ◀/▶ で「はい」を選び、**決定**を押す。
- 削除/取り消された予約は、予約リストから削除されます。

予約内容の変更をする

1

サブメニューを押し、▲/▼で「予約リスト」を選び、**決定**を押す。

2

▲/▼ で変更したい予約を選び、**決定**を押す。

◀/▶ で「設定変更」を選び、**決定**を押す。

▲/▼ で「毎週予約に変更する」「自動録画予約に変更する」「詳細設定」のいずれかを選び、設定を変更する。

3

- 「詳細設定」で予約内容を変更した場合は、設定変更画面で「修正する」を選び**決定**を押します。

録画可能時間を確認する

録画リストを押すと録画リスト画面が表示されます。画面上部の録画可能時間表示でご確認いただけます。

録画可能時間



録画リスト

メモ

- 予約リスト表示中にサブメニューを押すと「全履歴削除」画面が表示され、**決定**を押すと完了した予約がリストから削除されます。
- 予約の時間帯が重複した場合、予約重複確認画面が表示され、重複した番組予約を削除できます。

ご注意

番組延長追従機能について

- 番組の放送開始時刻が3時間以上延長された場合、日時指定予約の場合は追従できません。
- 録画対象の番組の放送開始時間が早くなった場合は追従できません。

ご注意

- 日時指定予約時は、予約一覧に番組名は表示されません。
- USB HDDの残量が足りない場合は、録画できなかつたり、途中で録画が停止します。録画前にUSB HDDの残量を確認してください。
- 予約録画中に、■(停止)を押すと予約録画を途中で停止することができます。確認画面に従って操作してください。それまで録画していた内容はUSB HDDに保存されます。

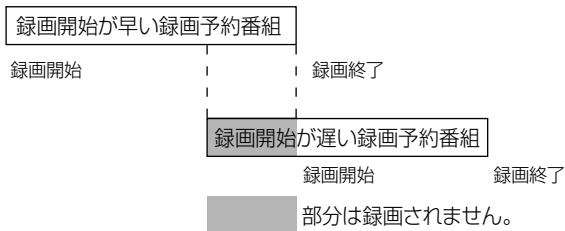
予約実行について

- 録画予約開始時刻の約30秒前に、予約開始のメッセージが画面に表示されます。
- 電源スタンバイ状態で予約が実行される場合、開始時刻の約6分前に機能待機になります。録画終了後、電源スタンバイ状態に戻ります。

メモ

録画予約の優先順位について

録画予約の時間帯が重なったときは、録画開始時間が早い予約録画が終了後、遅い予約録画の録画が開始されます。



- 録画開始が早い予約の終了時刻と録画開始が遅い予約の開始時刻が同じときは、録画開始が早い録画予約番組の最後の1分間は録画されません。
- 録画予約と録画を押しての録画の時間帯が重なったときは、録画予約が優先されます。
- 録画予約と視聴予約の時間帯が重なったときは、録画予約が優先されます。

録画した番組を再生する



- メモ
- 録画番組を再生中にテレビ放送に切り換えたいときは、**終了**、**地デジ/BS/CS**、**チャンネルへ/**または**ダイレクトチャンネル**を押します。
 - 放送視聴中に**再生/1.3倍速**を押すと、録画リストが表示されます。
 - 番組録画中に別の録画された番組を再生できます。再生中**停止**を押すと、再生のみ停止します。(録画は停止しません。)

録画した番組を再生するには

録画リストを押す。

- 録画リストが表示されます。

リスト内に表示されるアイコン

- NEW** : 未視聴の番組
- : 録画中の番組
- 🔒** : プロテクトされた番組(解除されるまで消去できません。)
- 📅** : まとめられた複数の番組(毎週または日時指定予約で毎日/毎週予約を選んだ場合に録画された番組がまとめられます。)
- 青** : 番組を複数選択
- 緑** : チャプターの一覧表示
- 黄** : 番組の消去



1

◀/▶で「全チャンネル」「未視聴」「ドラマ」「映画」「スポーツ」「アニメ」「音楽」のいずれかを選ぶ。

2

- 分類された録画番組が自動的にリスト表示されます。

▲/▼で番組を選び、**決定**または**再生/1.3倍速**を押す。

- 選択した番組が再生されます。
- 8番組以上リストにある場合は、**チャンネルへ/**▼でページ送りできます。
- 再生を途中で停止した番組を再度再生する場合、「続きから再生」するか「最初から再生」するかを選べます。
- **📄**を押すと、選択した番組の情報が表示されます。

3

■(停止)を押す。

- 再生が停止します。

4

番組再生中のリモコン操作

リモコンキー	内容
10秒バック	約10秒戻って再生します。
30秒スキップ	約30秒先に進んで再生します。
▲	
早送り▶▶	早送り再生します。押すたびに2倍→4倍→12倍→30倍→120倍で早送りします。 再生/1.3倍速 を押すと通常の再生速度に戻ります。
▶	
早戻し◀◀	早戻し再生します。押すたびに2倍→4倍→12倍→30倍→120倍で早戻しします。 再生/1.3倍速 を押すと通常の再生速度に戻ります。
◀	
一時停止/静止	一時停止します。再度 一時停止/静止 を押すか 再生/1.3倍速 を押すと、再生が再開されます。
再生/1.3倍速▶	再生を開始します。 再生/1.3倍速 を3秒以上押し続けると1.3倍速再生されます。再度 再生/1.3倍速 を押すと通常の再生速度に戻ります。
停止■	再生を停止し、録画リストが表示されます。
次▶▶または赤	次のチャプターの最初から再生します。
前◀◀または青	再生中のチャプターの最初に戻ります。
黄	A-Bリピート再生します。(32ページ参照)
決定	タイムシフト再生します。(33ページ参照)
▼	再生を停止し録画リストを表示します。

基本操作



ご注意

- まとめ番組では、チャプターを選べません。(まとめ番組内の番組ではチャプターを選べます。)
- 早送り/早戻し/一時停止中は、A-Bリピート再生できません。
- A-Bリピートは、早送り・早戻し・一時停止などのリモコン操作で解除されます。

追っかけ再生

番組を録画しながら、同時に同じ録画中の番組を再生できます。

- 1 **録画リスト**を押す。
● 録画リストが表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で追っかけ再生したい録画中の番組を選び、**決定**を押す。
● 録画中の番組には、録画中のアイコン(●・赤い丸)が付いています。
- 3 ■(停止)を押す。
● 再生は停止しますが録画は継続されます。

チャプター再生

見たい場面を選んで再生できます。

- 1 **録画リスト**を押す。
● 録画リストが表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で番組を選び、**緑**を押す。
● チャプター一覧が表示されます。
- 3 ◀/▶ で見たい場面を選び**決定**を押す。
● 選んだチャプターから再生が始まります。
● 再生中も、**緑**を押してチャプターが選べます。

A-Bリピート再生

選んだ開始位置と終了位置の間をリピート(繰り返し)再生します。

- 1 **録画リスト**を押す。
● 録画リストが表示されます。
- 2 ▲/▼/◀/▶ で番組を選び、**決定**を押す。
● 再生が開始されます。
- 3 再生中に**黄**を押し、A点(開始位置)を選ぶ。
- 4 再度**黄**を押し、B点(終了位置)を選ぶ。
● 選んだA-B間をリピート再生します。
- 5 A-Bリピート再生を終了するには、**黄**を押します。



タイムシフト再生

お好みの時間から再生できます。

1

- 録画リストを押す。
● 録画リストが表示されます。

2

- ▲/▼/◀/▶ で番組を選び、**決定**を押す。
● 選択した番組が再生されます。

3

- 再生中に**決定**を押す。
● 画面が一時停止し、シークバーが表示され、現在の再生時間位置を示します。



4

- ◀/▶ で再生開始したい時間を選ぶ。
● ◀/▶ を離したときの時間から、再生が始まります。
● ◀/▶ を押し続けると、時間を早送り/早戻しできます。

字幕言語、音声、二重音声、視聴制限の一時解除

1

- 再生中に**サブメニュー**を押す。
● サブメニュー設定画面が表示されます。



- ▲/▼ でお好みの項目を選び、**決定**または ▶ を押す。

字幕言語: 複数言語の字幕が記録された録画番組で、「日本語」または「英語」を選びます。

音声切換: 複数の音声（主音声、副音声など）が記録された録画番組で、お好みの言語の音声に切り換えます。

二重音声: 二重音声（主音声、副音声など）が記録された録画番組で、お好みの音声に切り換えます。

視聴制限一時解除: 視聴制限を解除します。暗証番号の入力が必要です。

2

ご注意

- 字幕の設定が「オフ」のときは、字幕言語を切り換えても字幕は表示されません。
- 日本語/英語以外の字幕は表示されません。



録画番組のプロテクトを設定する

録画番組を誤って消去しないようプロテクト(保護)したり、解除できます。

- 1 **録画リスト**を押す。
●録画リストが表示されます。

- 2 ▲/▼/◀/▶で番組を選び、**サブメニュー**を押す。



- 3 ▲/▼で「プロテクト設定変更」を選び、**決定**を押す。
●選んだ録画番組がプロテクトされ、プロテクト中のアイコン(🔒)が付きます。
●録画番組を選び、青を押すとチェックマークが付きます。複数の番組にチェックマークを付け、まとめてプロテクトすることができます。

- 4 プロテクトを解除するには、手順3でもう一度**決定**を押す。
●プロテクト中のアイコンが消え、プロテクトが解除されます。

録画番組名を変更する

録画番組の名前を変更することができます。

- 1 **録画リスト**を押す。
●録画リストが表示されます。

- 2 ▲/▼/◀/▶で番組を選び、**サブメニュー**を押す。

- 3 ▲/▼で「番組名編集」を選び、**決定**を押す。
●「番組名編集」画面が表示され、録画番組の変更ができます。
●文字入力の方法については、46ページをご覧ください。

録画番組を消去する

不要な番組を消去できます。

- 1 **録画リスト**を押す。
●録画リストが表示されます。

- 2 ▲/▼/◀/▶で番組を選び、**黄**を押す。

- 3 確認画面中 ▲/▶で「はい」を選び、**決定**を押す。
●録画リストから消去された番組が削除されます。
●録画番組を選び青を押すとチェックマークが付きます。複数の番組にチェックマークを付け、まとめて消去することができます。

ご注意

- 録画リスト内のチェックマークが付いている番組は、番組名の変更はできません。
- プロテクトされた番組・録画中の番組・まとめ番組は、番組名の変更はできません。(まとめ番組内の番組では変更できます。)
- プロテクトされた番組は削除できません。削除するにはプロテクトを解除してください。

写真を見る

デジタルカメラで撮影した画像（DFC/EXIF規格のJPEG画像）などをテレビの大画面で楽しむことができます。



準備

画像の入ったUSBメモリーまたはUSB HDDを、本機背面のUSB端子に接続します。

- USBメモリーやPCでUSB HDDに保存した写真を見ることができます。

画像を表示する

サブメニューを押し、▲/▼で「写真リスト」を選び、**決定**を押し。

- 写真リストが表示されます。
- 青を押すとスライドショー設定画面になります。（36ページ参照。）



1

- 赤を押すと、「フォルダ別」「日付別」または「月別」に表示を切り換えることができます。

▲/▼/◀/▶で画像を選び、**決定**を押し。

- 選んだ画像が全画面表示（シングル表示）されます。
- テレビの解像度よりも大きな画像は縮小、小さな画像は拡大されます。



シングル画像表示中の操作

黄：画像が90度ずつ時計回りに回転します。

◀/▶：前/次の画像を選びます。

決定または **||**（一時停止）：スライドショー再生します。もう一度押しと一時停止します。

2

▶（再生）：スライドショー再生します。

戻る/▼/■（停止）：写真リストに戻ります。

基本操作

ご注意

- 画像以外のデータ（動画やアプリケーション等）は利用できません。
- USBメモリーは、USB2.0対応品のみ使用可能です。
- 本機では、8x8~30,719 x 17,279画素までの画像の表示が可能です。
- 本機では、DFC/EXIFで保存されたJPEG形式以外で保存された形式（TIFF、PROGRESSIVE JPEG、JPEG 2000など）の画像は再生できません。
- DFC/EXIF規格とは、デジカメの統一フォーマットとして制定された画像形式です。
- パソコンなどで編集された画像データは、表示されない場合があります。
- 大切なデータは念のためバックアップを取っておくことをおすすめします。
- 私的利用以外での使用は、著作権法違反となる場合があります。使用の際はご注意ください。
- 画像が保存されたUSB HDDを本機に接続するとき、USB HDDの登録をせずに、そのままご使用ください。登録をするとUSB HDDは初期化され、中のデータは全て削除されます。



ご注意

- スライドショー設定の設定内容によっては、その他の項目が選択できない場合があります。

スライドショー再生する

複数の画像データを順番に再生します。

1

サブメニューを押し、▲/▼で「写真リスト」を選び、**決定**を押し。

- 写真リストが表示されます。

青を押し、▲/▼で「スライドショー開始」を選び、**決定**を押し。

- スライドショー再生が始まります。
- 終了すると写真リストを表示します。

スライドショー再生中の操作

◀/▶ / ◀◀/▶▶ / ◀◀◀/▶▶▶ : 前/次の画像を選びます。

決定 / || (一時停止) : スライドショー再生を一時停止します。もう一度押しすと再開します。

2

▶ (再生) : 一時停止中のスライドショー再生を再開します。

戻る/▼/■ (停止) : 写真リストに戻ります。

スライドショー開始	
フレーム	オフ
カラーエフェクト	オフ
表示効果	フェード
表示モード	ノーマル
表示間隔	普通
リピート	オン

スライドショーの設定

表示の方法や間隔、効果などを設定できます。

1

サブメニューを押し、▲/▼で「写真リスト」を選び、**決定**を押し。

- 写真リストが表示されます。

青を押し、▲/▼で設定したい項目を選び、設定する。

- 写真リスト表示中にサブメニューを押ししても「スライドショー設定」画面が表示されます。

スライドショー開始	
フレーム	オフ
カラーエフェクト	オフ
表示効果	フェード
表示モード	ノーマル
表示間隔	普通
リピート	オン

フレーム：画像の表示方法を選びます。

設定項目：「オフ」「マルチ」「コラージュ」

カラーエフェクト：表示色の効果を選びます。

設定項目：「オフ」「セピア」「グレースケール」

表示効果：画像が切り換わる時の表示効果を選びます。

設定項目：「オフ」「フェード」「ディゾルブ」「モーション」「ランダム」

表示モード：画像の拡大表示を選びます。

設定項目：「ノーマル」「ズーム」

表示間隔：画像が切り換わる間隔を選びます。

設定項目：「長い」「普通」「短い」

リピート：全ての画像を表示するかを選びます。

設定項目：「オン」「オフ」

- 「オフ」を選ぶと表示切替で選んだ分類で表示します。

2

メニュー画面の操作方法

ここでは本機の設定をするための基本的な操作方法を説明します。各項目の詳細については次ページ以降をご覧ください。

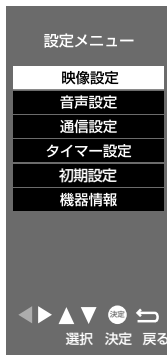
準備

- リモコンまたは本体の電源ボタンを押して、電源を入れます。
- 電源ランプが緑に点灯します。
- 設定を変更したい入力モードに切り換えます。

たとえば、「映像モード」の設定をする。

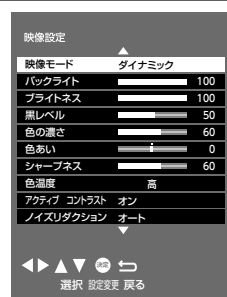


メニューを押す。
メニュー画面が表示されます。



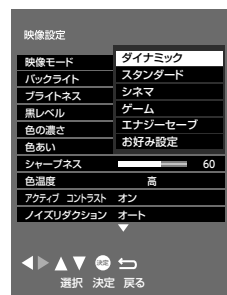
1

▲/▼ で「映像設定」を選び、▶ または決定を押す。



2

▲/▼ で「映像モード」を選び、▶ または決定を押す。
● 設定項目が表示されます。



3

4

▲/▼ でお好みの項目を選び、決定を押す。

5

メニューを押す。
通常の画面に戻ります。

メモ

- メニューを表示して何も操作をしないと、約3分で表示が消えます。
- 戻るまたは◀を押すと、それぞれひとつ前のメニュー画面に戻ります。

便利な使い方

メニュー項目の詳細

映像設定			
映像モード	本機にはあらかじめシーンに合わせた映像設定が用意されています。お好みに合わせて設定を切り換えてお楽しみいただけます。		
	ダイナミック	画面の明るさ、色鮮やかさを重視した設定です。日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しめます。	
	スタンダード	家庭での使用に合わせた標準設定です。	
	シネマ	暗くした部屋でテレビ番組、映画を見る時に適した設定です。	
	ゲーム	映像の遅延を最小限に抑え、ゲームのレスポンスを重視した設定です。	
	エナジーセーブ	画面の明るさを抑制し、電力消費を軽減する設定です。	
	お好み設定	お好みに合わせて調節できます。	
	●映像設定は、放送/各入力端子ごとに記憶されます。		
バックライト	0 ~ 100	お好みに合わせて見やすい明るさに設定します。	
ブライトネス	0 ~ 100	周囲の明るさに合わせて、見やすくなるように設定します。	
黒レベル	0 ~ 100	映像の暗い部分の再現性(明るさ)を設定します。	
色の濃さ	0 ~ 100	映像の色の濃さを設定します。	
色あい	-50 ~ 50	肌色がきれいに見えるように設定します。	
シャープネス	0 ~ 100	映像の鮮明さを設定します。	
色温度	高/中高/中低/低/ ブルーライト軽減	白色の色調を寒色系か、暖色系に補正するときに設定します。ブルーライト軽減を選ぶと、目の疲れの原因となる青色の光を抑えます。	
アクティブ コントラスト	オン/オフ	「オン」を選ぶと、映像に合わせ自動的に階調にメリハリを付け、コントラスト感を向上させます。	
ノイズリダク ション	オート/強/中/弱/オフ	映像のノイズやざらつきを軽減します。「オート」を選ぶと、映像に応じて自動的に調節します。	
MPEG NR	強/中/弱/オフ	モスキートノイズ(輪郭周囲のノイズ)やブロックノイズ(モザイク状のノイズ)を軽減します。	
高度な設定	オン/オフ	映像設定で「詳細設定」を行うときに「オン」を選びます。	
詳細設定	黒補正	0 ~ 15	中間より暗い部分の階調変化を調節します。
	色温度調整		色温度調整 色温度をお好みに合わせて調節できます。R(赤色)、G(緑色)、B(青色)を別々に調整できます。
	Rゲイン	-50 ~ 50	お好みに合わせ、明るい部分の色調を調整します。
	Gゲイン	-50 ~ 50	
	Bゲイン	-50 ~ 50	
	Rカットオフ	-50 ~ 50	お好みに合わせ、暗い部分の色調を調整します。
	Gカットオフ	-50 ~ 50	
	Bカットオフ	-50 ~ 50	
	標準に戻す		「はい」を選ぶと、色温度調整をお買上げ時の設定に戻します。
	ガンマ設定		映像の明暗のバランスを調節します。
	1.8/2.0/2.2/2.4/2.6		数値が小さいほど、中間輝度が明るくなります。
標準に戻す		「はい」を選ぶと、ガンマ設定をお買上げ時の設定に戻します。	
標準に戻す		「はい」を選ぶと、詳細設定をお買上げ時の設定に戻します。	
シネマ設定	シネマモード	オン/オフ	「オン」を選ぶと、映像フィルム映像をより原画に忠実に再現します。映像にノイズなどが入り不自然に見えるときは、「オフ」を選んでください。

映像設定			
画面設定	表示モード	オート/フル/スーパーフル/ノーマル/シネマ/HDフル/HDスーパーフル/HDシネマ	お好みに合わせ、表示モードを切り換えます。「オート」を選ぶと、放送や入力信号に合わせ自動的に表示モードを切り換えます。 ●番組情報が表示されているときや番組・入力信号によっては、表示モードの項目が選べない場合があります。
	オーバースキャン	オン/オフ	「オン」を選ぶと、映像の表示領域が少しカットされ、拡大表示されます。画面周囲のちらつきをカットするときに使います。
	左右振幅切換	標準/小	「小」を選ぶと、映像の左右の表示領域が少しカットされ、ワイド表示されます。画面左右のちらつきをカットするときに使います。
	垂直位置/サイズ調整		画面の位置とサイズを調整します。表示モードがスーパーフル/シネマ/HDスーパーフル/HDシネマのときに調整できます。
	4:3映像設定	ノーマル/スーパーフル	表示モードが「オート」で4:3の映像を見るとき、「ノーマル」を選ぶと4:3のオリジナル映像が表示され、「スーパーフル」を選ぶと自動的に拡大された映像が表示されます。
標準に戻す	はい/いいえ		「はい」を選ぶと、映像設定をお買上げ時の設定に戻します。
音声設定			
音声モード	おすすめ	原音を忠実に再現した音質設定です。	
	ミュージック	音楽や歌などに最適な設定です。小音量でも迫力のある音を楽しめます。	
	はっきり音声	ニュースやドラマのセリフなど、人の声を聞き取りやすい設定です。	
	お好み設定	お好みに合わせて調節できます。	
低音	-15 ~ 15		低音をお好みに合わせて調節できます。
高音	-15 ~ 15		高音をお好みに合わせて調節できます。
イコライザー	150Hz/250Hz/500Hz/1kHz/2kHz/4kHz/8kHz/12kHz/標準に戻す		低音(150Hz)から高音(12kHz)まで、8つの周波数ごとに調節できます。音声モードが「お好み設定」のときに調節できます。「標準に戻す」を選ぶと、イコライザーをお買上げ時の設定に戻します。
バランス	L15 ~ R15		左右のスピーカーの音量バランスをお好みに合わせて調節できます。
サラウンド	オン/オフ		「オン」を選ぶと、臨場感のあるサラウンド効果を楽しめます。音がひずむときは、「オフ」を選んでください。 ●モノラル音声では効果がありません。
ヘッドホン音量	0 ~ 100		本体スピーカー音量とは別に、ヘッドホンの音量のみ調節できます。
オートボリューム	オン/オフ		「オン」を選ぶと、音の大きさを自動的に調節し、音量の変化を抑えます。
入力音量補正	-6 ~ 6		放送から外部入力に切り換えたときなど、音量が変化する場合に、音量を補正することができます。音量を調節したい放送または外部入力を視聴中に調節してください。
デジタル音声出力	オート		音声信号にあわせて、MPEG-2 AAC信号をそのまま出力、またはPCMに変換して出力します。
	PCM		接続機器がPCMのみに対応している場合に選択します。MPEG-2 AAC信号もPCMに変換して出力します。
	ビットストリーム		MPEG-2 AAC信号をそのまま出力します。
HDMI音声入力設定	HDMI1/HDMI2	デジタル/アナログ	HDMIケーブルのみで接続したときは「デジタル」を選びます。HDMIケーブルと音声ケーブルで接続したときは「アナログ」を選びます。
ヘッドホン音声設定	1		ヘッドホン接続時に、ヘッドホンと本体両方から音声が出力されます。ヘッドホンの音量の調節は、「ヘッドホン音量」か本体の 音量+ ボタンで行います。
	2		ヘッドホン接続時に、ヘッドホンから音声が出力され、本体からは音声が出力されません。
標準に戻す	はい/いいえ		「はい」を選ぶと、音声設定をお買上げ時の設定に戻します。

通信設定			
ネットワーク 接続	本機の名称変更	本機の名称を変更することができます。	
	IPアドレス 自動取得	する/ しない	IPアドレスをDHCPサーバーなどから自動で割り振られる場合は「する」に設定します。
	IPアドレス		「IPアドレス自動取得」設定で「しない」を選んだときにIPアドレスを 数字ボタン で入力します。
	サブネットマスク		「IPアドレス自動取得」設定で「しない」を選んだときにサブネットマスクを 数字ボタン で入力します。
	ゲートウェイ		「IPアドレス自動取得」設定で「しない」を選んだときにゲートウェイを 数字ボタン で入力します。
	DNSアド レス自動 取得	する/ しない	DNSアドレスがDHCP サーバーなどから自動で割り振られる場合は「する」に設定します。
	DNS		「DNSアドレス自動取得」設定で「しない」を選んだときにDNSを 数字ボタン で入力します。
	プロキシ 設定	アドレス/ ポート番号	プロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定します。
ネットワーク 状態	再接続確認	本機がネットワークに接続できるかを確認します。	
	詳細情報	接続方法やアドレスなどの情報を表示します。	
タイマー設定			
日時指定 予約	予約方式		「視聴予約」または「録画予約」を選びます。
	放送種別/チャンネル		放送種別(地上デジタル/BS/CS)とチャンネルを選びます。
	曜日/日		日にちの設定のほか、毎週/毎日予約の設定ができます。
	開始時刻		予約の開始時刻を設定します。
	終了時刻		予約の終了時刻を設定します。
	その他の設定		「録画番組のプロテクト」を「する」「しない」を選びます。「する」を選ぶと、録画した番組を誤って消去しないようにプロテクト(保護)することができます。
	予約せず戻る		日時指定予約を中止し、ひとつ前の設定画面に戻ります。
	予約する		日時指定予約の設定を完了します。
オンタイマー	オンタイマー(オン/オフ)		「オン」を選ぶと、オンタイマーが設定されます。
	時刻		電源が入る時刻を設定します。
	音量		電源が入るとききの音量を設定します。
	放送/入力		電源が入るとききの放送種別(地上デジタル/BS/CS)、外部入力(HDMI1/HDMI2/ビデオ/D端子/PC)または「設定しない」を選びます。「設定しない」を選ぶと、オンタイマーで電源が入る前のチャンネルまたは外部入力で電源が入ります。
	チャンネル		「放送/入力」で「地デジ」「BS」または「CS」を選んだとき、電源が入るとききのチャンネルを設定します。「設定しない」を選ぶと、オンタイマーで電源が入る前のチャンネルで電源が入ります。
	チャンネル名		「チャンネル」で選んだ放送局名が自動的に表示されます。
無操作自動 電源オフ	オン/オフ		「オン」を選ぶと、リモコンや本体の操作が4時間以上行われない場合、自動的にスタンバイ状態になります。
無信号自動 電源オフ	オン/オフ		「オン」を選ぶと、放送終了など、信号が無くなってから約10分後に自動的にスタンバイ状態になります。

初期設定				
PC画面調整			入力切換で「PC」を選んだときに表示します。	
入力解像度	1024×768/ 1280×768/ 1366×768		パソコンから入力している解像度を選びます。	
ドットクロック周波数	-125~125		映像に縦じまのノイズがあるときに調整します。	
水平位置	-125~125		映像の位置を左右に調整します。	
垂直位置	-30~30		映像の位置を上下に調整します。	
クロック位相	-30~30		横方向の縞や、文字のにじみがあるときに調整します。	
標準に戻す			PC画面調整をお買上げ時の設定に戻します。	
USB機器管理			USB機器の一覧を表示します。	
青			USB機器を取り外すときに選びます。	
赤			USB機器の詳細情報を確認することができます。	
緑			USB機器の表示名を変更することができます。 ●文字入力方法については、46ページをご覧ください。	
黄			USB機器の登録を削除するときに選びます。	
録画設定	自動予約	オン/オフ	「オフ」を選ぶと、自動予約を一時的に停止します。	
	録画ボタン設定	番組終了/ 3時間録画	録画ボタンを押して録画したときに、停止するタイミングを設定します。	
	オートチャプター	オン/オフ	「オン」を選ぶと、番組の切れ目に自動的にチャプターマークを付けます。	
	HDD省エネ設定	オン/オフ	「オン」を選ぶと、USB HDDが動作していないときにUSB HDDをスタンバイ状態にします。	
視聴制限			視聴年齢制限のある番組を、暗証番号を入力しなければ視聴できないように設定します。	
	暗証番号		暗証番号を変更します。 数字ボタンで暗証番号(4桁)を入力してください。 ●お買上げ時は、暗証番号が設定されていません。 ●暗証番号設定後は、「視聴制限」の設定を変更するために暗証番号の入力が必要になります。 ご注意：暗証番号は大切に保管してください。	
	視聴年齢設定	4才~19才/ 無制限	制限年齢を設定します。 ●年齢制限を超える番組は、番組表などで「……」と表示されます。	
	暗証番号削除	はい/いいえ	「はい」を選ぶと、暗証番号を削除します。	
表示の設定	字幕の設定	字幕	オン/オフ	字幕の表示/非表示を切り換えます。
		字幕言語	日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。
		文字スーパー	オン/オフ	臨時ニュースなどの文字スーパーを表示するかどうかを選びます。
		文字スーパー言語	日本語/英語	文字スーパーに表示される言語を選びます。
	外部入力表示	HDMI1	外部入力への切り換え時に表示される機器名称を選びます。 ●使用しない(スキップ)を選ぶと、入力切換ボタンを押したときにメニューに表示されなくなります。	
		HDMI2		
		ビデオ		
		D端子		
		PC		
	選局時の番組名表示	オン/オフ	「オン」を選ぶと、チャンネルを変更したとき、番組名を表示します。	
	時計表示	オン/オフ	「オン」を選ぶと、時計を表示します。	

初期設定					
HDMI連動設定		HDMIケーブルで本機と接続されている機器と、相互に連動して操作することができます。			
HDMI連動	オン/オフ		「オン」を選ぶと、「電源オン連動」「電源オフ連動」「自動オフ」「レコーダー操作」を設定できます。		
電源オン連動	オン/オフ		「オン」を選ぶと、接続機器の電源を入れたり、再生操作をしたときに、本機の電源も連動して入ります。		
電源オフ連動	オン/オフ		「オン」を選ぶと、本機の電源を切ったとき、接続機器の電源も連動して切れます。		
自動オフ	オン/オフ		「オン」を選ぶと、一定時間、使用していない接続機器の電源を自動で切ります。		
レコーダー操作	通常/拡大		「拡大」を選ぶと、本機のリモコンでレコーダーのチャンネルや番組表などの操作ができます。		
はじめての設定	16ページをご覧ください。				
設置設定	受信対象設定	BS		使う/使わない	BSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。
		CS		使う/使わない	110度CSデジタル放送を受信するかどうかを設定します。
	チャンネル設定	地上デジタル		初期スキャン	設定済みのチャンネルを削除し、受信チャンネルを設定し直します。
				再スキャン	設定済みのチャンネルを変えずに、チャンネルの追加・変更を行います。
				マニュアル	リモコンの 数字ボタン のチャンネル割り当てを変更します。
		BS		リモコンの 数字ボタン のチャンネル割り当てを変更します。	
	CS		リモコンの 数字ボタン のチャンネル割り当てを変更します。		
	地域設定	県域設定		設定すると、お住いの地域に合わせたチャンネル設定が自動で行われます。	
		郵便番号		設定すると、お住いの地域に合わせたデータ放送設定が自動で行われます。	
	受信設定	地上デジタル	アッテネーター	オン/オフ	放送の電波が強すぎて、映像が不安定になる場合、「オン」に設定します。 受信レベルが45未満になる場合は、正常に受信できなくなる場合がありますので、アッテネーターの設定を「オフ」にして、ブースター等の出力レベルを調節してください。
			物理チャンネル		お住いの地域の地上デジタル放送に使用される物理チャンネルを切り換えることができます。
		BS-CS	アンテナ電源	オン/オフ	家庭用等のBSアンテナを個別に設置している場合、「オン」に設定します。
			トランスポンダ		各トランスポンダの受信レベルを確認することができます。
	衛星周波数		受信する周波数を変更する必要がある場合に使用します。放送局から指示がないときは変更しないでください。		
	クイックスタート		オン/オフ		「オン」を選ぶと、電源を入れてから映像が出るまでの時間が短縮されます。 ●年間消費電力が増加しますのでご注意ください。 ●本体の 電源ボタン を押して電源を「切」にしたときは、クイックスタート機能は働きません。
B-CASカードテスト		B-CASカードが正しく挿入されているかテストします。			

初期設定				
システム 設定	設定の初期化	はい/いいえ	「はい」を選ぶと、全ての設定項目をお買い上げ時の設定に戻し、利用者個人情報を消去します。 ●データ放送の双方向サービスなどで得たポイント等も削除されます。 ●USB HDDの登録情報が削除されるため、録画番組は再生できなくなります。 ●視聴制限の暗証番号は削除されません。	
	お知らせ		放送局からのお知らせ(放送メール)を表示します。	
	B-CASカード情報		B-CASカードの「カード識別」「カードID」「グループID」情報を表示します。	
	ボード	CS1ボード/ CS2ボード	110度CSデジタル放送からのお知らせを表示します。	
	放送ダウンロード	自動	スタンバイ状態のとき、自動的に本機の最新のソフトウェアをダウンロードします。	
		手動	ソフトウェアの更新があるときは「お知らせ」にメールが届きます。メール内で「はい」を選ぶと、予定時刻にダウンロードを行います。	
	ライセンス 情報	ソフト情報表示	本機で使用しているソフトウェアプログラムに含まれるライセンス情報の詳細が表示されます。	
ルート証明書		ルート証明書を表示します。		
その他の 設定	文字入力 設定	入力方法	リモコンボタン	リモコンの 数字ボタン(1-12) を使用して文字を入力します。
			画面キーボード	画面に表示されるキーボードを使用して文字を入力します。
		変換方式	通常方式/予測方式	予測方式を選ぶと、文字を入力するとき、変換候補を表示します。
	選局対象	設定チャンネル	「チャンネル設定」で設定されたチャンネルを表示します。	
		テレビのみ	テレビのチャンネルのみ表示します。	
全チャンネル		テレビのチャンネルのほか、データ放送など全てのチャンネルを表示します。		
機器情報	ID表示	デコーダーID(テレビの型名)とソフトウェアのバージョンを表示します。		

サブメニュー項目の詳細

デジタル放送をご覧になっているとき			
HDMI機器設定	HDMI機器選択		HDMI連動対応機器を選択します。
	スピーカー 選択	TV/外部	音声をテレビから出力するか外部スピーカーから出力するか選択します。
オフタイマー		90分/60分/ 30分/オフ	オフタイマーを設定します。(20ページ参照)
写真リスト	写真リストを表示します。(35ページ参照)		
予約リスト	予約リストを表示します。(22ページ参照)		
チャンネル設定		地上デジタル/ BS/CS	各放送の、リモコンの 数字ボタン に割り当てられたチャンネルを変更します。
3桁入力選局	3桁のチャンネル番号を入力するときに使います。		
視聴制限一時 解除	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。		
アンテナレベル	視聴中のチャンネルのアンテナレベルを表示します。		
枝番選局	枝番のあるチャンネルを選局します。		
信号切換	マルチビュー		マルチビュー放送のとき、映像を切り換えます。
	映像		マルチアングルなどの複数の映像がある番組のとき、映像を切り換えます。
	音声		複数の音声がある番組のとき、音声を切り換えます。
	二重音声		二重音声(主音声、副音声など)が記録された番組のとき、音声を切り換えます。
	データ		複数のデータがある番組のとき、データを切り換えます。
	字幕	オン/オフ	字幕の表示/非表示を切り換えます。
	字幕言語	日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。
外部入力の映像をご覧になっているとき			
HDMI機器操作		HDMIケーブルで本機と接続されている機器を操作することができます。 ●入力切替で「HDMI1」「HDMI2」を選んだときに表示します。 ●接続機器によっては、一部の操作ができない場合があります。本機で操作できないときは、接続機器のリモコンで操作してください。	
番組選択		HDMI接続機器に録画されている番組を選びます。	
ドライブ切換		HDMI接続機器のハードディスクとディスクドライブを切り換えます。	
画面表示		HDMI接続機器で視聴中の番組の情報を表示します。	
電源		HDMI接続機器の電源をオン/オフします。	
予約リスト		HDMI接続機器の予約リストを表示します。	
リンクメニュー		HDMI接続機器のメニューを表示します。表示されるメニューは接続機器によって異なります。	
番組表		HDMI接続機器の番組表を表示します。	
セットアップメニュー		HDMI接続機器の設定メニューを表示します。表示されるメニューは接続機器によって異なります。	
AV system		HDMIケーブルで本機と接続されているオーディオ機器を操作することができます。	
		セットアップ メニュー	メニュー画面を表示します。
		Input switching	外部入力を切り換えます。
		画面表示	接続機器で視聴中の番組の情報を表示します。

外部入力の映像をご覧になっているとき			
HDMI機器設定	HDMI機器選択		HDMI連動対応機器を選択します。 接続機器から機器名を取得できた場合は、機器名を表示します。
	スピーカー 選択	TV/外部	音声をテレビから出力するか外部スピーカーから出力するか選択します。
オフタイマー		90分/60分/ 30分/オフ	オフタイマーを設定します。(20ページ参照)
写真リスト	写真リストを表示します。(35ページ参照)		
予約リスト	予約リストを表示します。(22ページ参照)		
番組表をご覧になっているとき			
番組の検索	番組のジャンルを指定して、見たい番組を探すことができます。		
視聴制限一時 解除	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。		
番組データ取得	選択した放送局の番組データを取得します。		
表示内容	設定チャン ネル	「チャンネル設定」で設定されたチャンネルを表示します。	
	テレビのみ	テレビのチャンネルのみ表示します。	
	全チャンネル	テレビのチャンネルのほか、データ放送など全てのチャンネルを表示します。	
予約リストをご覧になっているとき			
視聴制限一時 解除	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。		
全履歴削除	実行済みの予約履歴を一括で削除することができます。		
録画リストをご覧になっているとき			
視聴制限一時 解除	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。		
プロテクト設定 変更	録画番組を誤って消去しないようプロテクト(保護)したり、解除できます。		
番組名編集	録画番組の番組名を変更することができます。		
録画番組をご覧になっているとき			
字幕言語	日本語/英語	字幕に表示される言語を切り換えます。	
音声切換	複数の音声がある録画番組のとき、音声を切り換えます。		
二重音声	二重音声(主音声、副音声など)が記録された録画番組のとき、音声を切り換えます。		
視聴制限一時 解除	視聴制限のある番組を見るときに、暗証番号を入力し、視聴制限を一時的に解除します。		



USB 機器一覧での接続機器の表示名の変更、録画番組の番組名の変更等で使用します。

文字の入力には、画面キーボードを使用する方法と携帯電話のようにリモコンの数字ボタン(1~12)を使用する方法があり、文字の変換には、入力した文字ごとに変換する通常方式と入力した文字から後の文字を予測する方式があります。

文字入力を設定する

- 1 地デジまたは外部入力を視聴中に、**メニュー**を押す。
▲/▼ で「初期設定」を選び、**決定**または▶を押す。
▲/▼ で「その他の設定」を選び、**決定**または▶を押す。
▲/▼ で「文字入力設定」を選び、**決定**または▶を押す。

■ 入力方法を選ぶには

1. ▲/▼ で「入力方法」を選び、**決定**または▶を押す。
2. ▲/▼ で「リモコンボタン」または「画面キーボード」を選び、**決定**または◀を押す。

■ 変換方式を選ぶには

1. ▲/▼ で「変換方式」を選び、**決定**または▶を押す。
2. ▲/▼ で「通常方式」または「予測方式」を選び、**決定**または◀を押す。

2

3

終了を押す。

- メニュー表示が消えます。

画面キーボードで文字を入力する

	一	や	あ	わ	ら	や	ま	は	な	た	さ	か	あ	かな
改行	「	ゆ	い	を	り	ゆ	み	ひ	に	ち	し	き	い	青
空白	」	よ	う	ん	る	よ	む	ふ	ぬ	つ	す	く	う	赤
キーボード移動	!	っ	え、	れ、	め	へ	ね	て	せ	け	え			緑
入力位置移動	?	わ	お、	ろ、	も	ほ	の	と	そ	こ	お			黄

1

緑を押して、入力する文字の種類を選ぶ。

- 押すごとに、「かな」「カナ」「英数」に切り換わります。

▲/▼/◀/▶ で文字を選び、**決定**を押す。

- 文字を変換しないときは、**赤**を押して文字を確定します。
- 漢字などに変換したいときは、**青**を押します。表示された変換候補の中から ▲/▼ で入力したい漢字などを選び、**決定**を押します。
- 「変換方式」を「予測方式」にしたときは、▲/▼/◀/▶ で予測された文字を選び、**決定**を押します。変換したい候補が見つからないときは、**青**を押して選びます。
- 文字を挿入したいときは、▲/▼/◀/▶ で「入力位置移動」を選び、**決定**を押します。▲/▼/◀/▶ で挿入したい位置を選び、**決定**を押してから、文字を入力します。
- 文字を消したいときは、▲/▼/◀/▶ で「入力位置移動」を選び、**決定**を押します。▲/▼/◀/▶ で削除したい文字を選び、**黄**を押します。
- 入力を途中で止めるには、**戻る**を押します。

2

3

赤を押して、入力を終了します。

- 画面キーボードが消えます。



リモコンボタンで文字を入力する

数字ボタン—入力文字対照表を参照して、文字を入力してください。

- 1 **緑**を押して、入力する文字の種類を選ぶ。
● 押すごとに、「かな」「カナ」「英数」「数字」に切り換わります。

数字ボタン(1~12)を押して文字を入力する。

- 文字を変換しないときは、**決定**を押して文字を確定します。
- 漢字などに変換したいときは、表示された変換候補の中から ▲/▼ で入力したい漢字などを選び、**決定**を押します。変換したい候補が見つからないときは、◀/▶ で変換する範囲を変更してください。
- 同じ**数字ボタン**の文字を続けて入力するときは、▶ を押してから**数字ボタン**を押します。
- 濁音(゜)または半濁音(゜)を入力するときは、文字に続けて**10**を押します。
- 記号を入力するときは、「きごう」と入力し、**緑**で変換してから ▲/▼ で選びます。
- 「変換方式」を「予測方式」にしたときは、▲/▼ で予測された文字を選び、**決定**を押します。
- 文字を挿入したいときは、▲/▼/◀/▶ で挿入したい位置を選び、**決定**を押してから、文字を入力します。
- 文字を消したいときは、◀/▶ で消したい文字を選び、**黄**を押します。
- 入力を途中で止めるには、**戻る**を押します。

2

- 3 **決定**を押して、入力を終了します。
● 文字入力表示が消えます。

数字ボタン—入力文字対照表

ボタン	文字の種類			
	ひらがな	カタカナ	英字	数字
1	あいうえお あいうえお1	アイウエオ アイウエオ1	@./:~_# \$ % *+ = ^ ` 1	1
2	かきくけこ2	カキクケコ2	a b c A B C 2	2
3	さしすせそ3	サシスセン3	d e f D E F 3	3
4	たちつてとっ4	タチツテトッ4	g h i G H I 4	4
5	なにぬねの5	ナニヌネノ5	j k l J K L 5	5
6	はひふへほ6	ハヒフヘホ6	m n o M N O 6	6
7	まみむめも7	マミムメモ7	p q r s P Q R S 7	7
8	やゆよやゆよ8	ヤユヨヤユヨ8	t u v T U V 8	8
9	らりるれる9	ラリルレロ9	w x y z W X Y Z 9	9
10	、。?!・() 0	、。?!・() 0	-.:!"?&¥! () < > [] { } 0	0
11	わをんわー(スペース)	ワヲンワー(スペース)	(スペース)	*
12	(1つ戻る)	(1つ戻る)	(1つ戻る)	#

外部機器との接続

接続する前に

- 接続する機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 接続の際は、必ず本機及び接続する機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源を入れたままの接続は、スピーカーを傷めるおそれがあります。
- 接続するプラグは、各機器にしっかり差し込んでください。差し込みが不完全ですと、雑音が発生する恐れがあります。

接続した機器の映像を見るには

1 入力切換を押す。

2 ▲/▼ で外部入力を選ぶ。

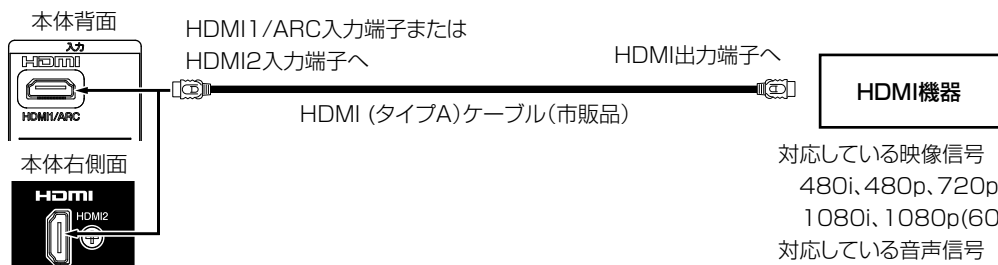
- 入力切換を繰り返し押すと、押すごとにテレビ→HDMI 1→HDMI 2→ビデオ→D端子→PC→テレビ→…と入力が切り換わります。
- 本体の入力切換を押した場合は、押すごとに地デジ→BS→CS→HDMI 1→HDMI 2→ビデオ→D端子→PC→地デジ→…と入力が切り換わります。



HDMI出力端子付きの機器に接続する

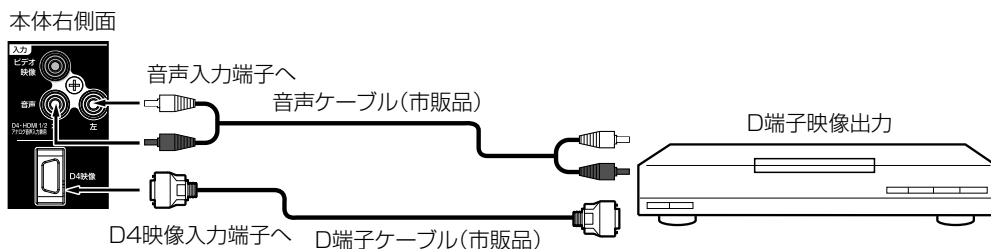
HDMI入力端子は、ブルーレイレコーダーなどのHDMI対応機器と1本のHDMIケーブルで接続し、映像/音声を入力することができます。

- HDMIケーブルのみで接続したときは、「音声設定」→「HDMI音声入力設定」で、接続したHDMI端子を選び、「デジタル」に設定してください。(39ページ参照)



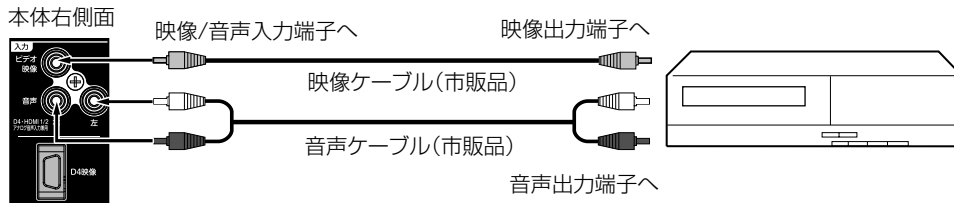
対応している映像信号
480i、480p、720p、
1080i、1080p(60Hz)
対応している音声信号
リニアPCM(サンプリング
周波数:32kHz/44.1kHz/
48kHz)

D映像出力端子付きの機器に接続する



対応しているD端子映像出力端子
D1 480i
D2 480i、480p
D3 480i、480p、1080i
D4 480i、480p、1080i、720p

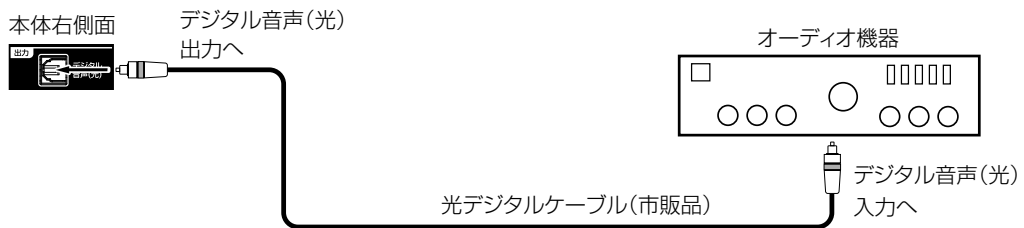
映像出力端子付きの機器を接続する



デジタル音声(光)端子付きのオーディオ機器に接続する

MPEG-2 AAC対応のオーディオ機器と接続すると、デジタル放送の5.1chサラウンドを楽しむことができます。

- お買上げ時のデジタル音声出力のフォーマットは「オート」に設定されています。接続するオーディオ機器によって、設定を変更してください。(39ページ参照)



ご注意

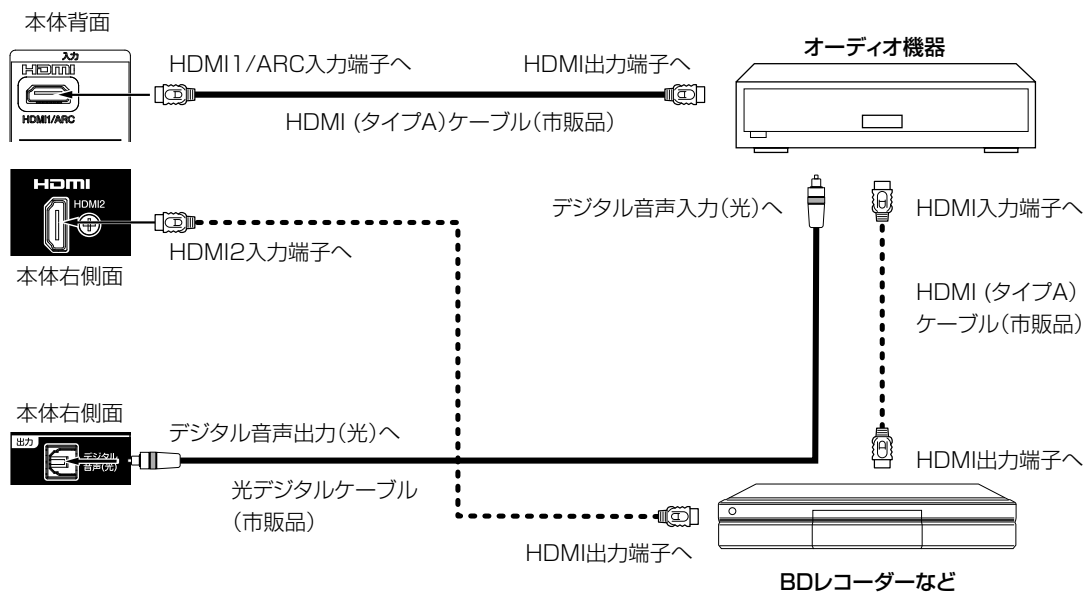
- 映像/音声にノイズが入る場合など、接続機器(ゲーム機、パソコン、DVDプレーヤー等)側の設定が必要な場合があります。接続機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。
- 外部機器との接続時に入出力端子を間違えて接続すると、故障の原因になりますのでご注意ください。
- 映像端子と音声端子を逆に接続しますと、映像も音声も出ません。映像、音声それぞれの端子が正しく接続されていることを確認してください。

HDMI連動対応機器と接続する

HDMIで規格化されているHDMI CEC(Consumer Electronics Control)に対応したオーディオ機器やレコーダーをHDMIケーブルで本機と接続することにより、相互に連動して操作することができます。

HDMI連動機器を接続する場合、「初期設定」→「HDMI連動設定」で、各機能を設定してください。(42ページ参照)

- 本機のHDMI1 入力端子はARC(オーディオリターンチャンネル)に対応しています。ARC対応のオーディオ機器をHDMI1 入力端子に接続する場合は、デジタル音声(光)ケーブルの接続は不要です。
- HDMI連動を使うには、接続したオーディオ機器やレコーダー側の設定も必要です。詳しくは、接続機器の取扱説明書をご覧ください。



HDMI連動したオーディオ機器を操作する

- 1 電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる。
 - メニューの「HDMI連動」設定を「オン」にして、「HDMI機器設定」でオーディオ機器選ぶと、オーディオ機器の電源が入ります。(42、44ページ参照)
- 2 サブメニューの「HDMI機器設定」→「スピーカー選択」→「外部」を選ぶと、オーディオ機器に接続されたスピーカーから音声が出ます。
 - テレビの音声が消え、本機リモコンの音量+/-でオーディオ機器の音量を調整できます。
 - 本機のヘッドホン端子から音声が出力されなくなります。ヘッドホンを使用する際は、オーディオ機器側のヘッドホン端子をご使用ください。
- 3 「HDMI機器操作」の「AV system」を設定すると、オーディオ機器の操作ができます。(44ページ参照)

HDMI連動したレコーダーを操作する

- 1 電源ボタンを押し、テレビの電源を入れる。
- 2 「HDMI連動」設定を「オン」にして、「HDMI機器設定」でレコーダー選ぶと、レコーダーの電源が入ります。(42、44ページ参照)
- 3 「HDMI機器操作」を設定すると、レコーダーの操作ができます。(44ページ参照)
 - 本機のリモコンでレコーダーの「カーソル」「決定」「再生」「停止」「一時停止」「サーチ」「スキップ」の操作を行うことができます。

その他の連携動作

- テレビの電源がオンの時にレコーダーの再生操作をすると自動的にHDMI入力に切り換わります。
- レコーダーの再生操作をすると、本機の電源が自動的に入り、HDMI入力に切り換わります。「HDMI連動設定」→「電源オン連動」を「する」にします。(42ページ参照)
- 本機の電源を切るかスタンバイ状態にすると、外部機器の電源も切ることができます。「HDMI連動設定」→「電源オフ連動」を「する」にします。(42ページ参照)

ご注意

- ARC非対応のオーディオ機器を接続する場合は、光デジタルケーブルによるデジタル音声入力/出力端子への接続が必要です。
- ARC機能を使用する場合は、下記のHDMIケーブルを推奨します。
 - ・ Standard HDMI® Cable with Ethernet
 - ・ High Speed HDMI® Cable with Ethernet
- HDMI2はARC非対応です。ARC 対応オーディオ機器を接続する場合は、HDMI1端子に接続してください。
- HDMI 規格に適合していないケーブルは使用できません。HDMI ロゴ表示があるケーブルを使用してください。
- オーディオ機器は本機とレコーダーの間に接続してください。レコーダー再生時に映像信号に対して音声信号がずれている場合は、オーディオ機器側の音声遅延設定で調節してください。
- 接続機器によっては、一部の操作ができない場合があります。
- HDMI連動に対応した機器をつなぎ変えたり、取りかえた場合、本機が正しく認識しないことがあります。その時は、下記を行ってください。
 - ① すべての接続機器の電源を入れ、本機の電源を入れ直す。
 - ② 「HDMI機器設定」→「HDMI機器選択」で、接続した機器を確認する。(44ページ参照)
 - ③ HDMI連動操作ができることを確認する。

パソコンと接続する

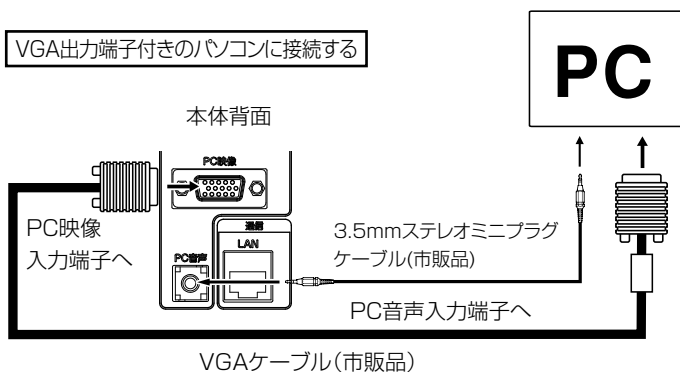
接続する前に

本機にパソコンを接続する前に、パソコンの出力解像度を確認してください。

- お使いのパソコンによっては、外部出力を有効にしないと映像が表示されない場合があります。詳しくは、接続するパソコンの取扱説明書をご覧ください。

テレビをパソコンに接続する前に、パソコンの解像度と垂直同期周波数 (60Hz) を調整してください。VGAケーブルの片方をテレビのPC映像入力に、そしてもう片方をパソコンのビデオカードに接続してください。マルチメディア対応のパソコンの場合、PC音声入力とパソコンのAUDIO OUT 3.5mmステレオミニプラグケーブル(市販品)で接続してください。入力切換を押してPCモードを選択 (48ページを参照) し、パソコンの電源を入れてください。テレビをパソコンのモニターとして使用できます。

VGA出力端子付きのパソコンに接続する

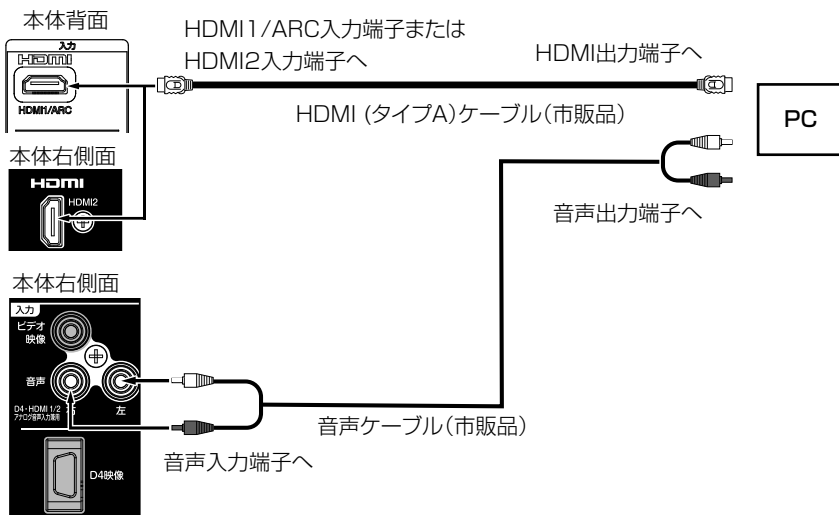


対応している解像度

モード	解像度	垂直同期周波数
VGA	640×480	60Hz
SVGA	800×600	60Hz
XGA	1024×768	60Hz
WXGA	1280×768	60Hz
WXGA	1366×768	60Hz

- WXGAを入力したときや、画面に縦じまのノイズや画像のずれ、ちらつきなどが出る場合は、「PC画面調整」で調整してください。(41ページ参照)
- お使いのパソコンによっては、サポートしている解像度でも、正常に映像を表示できない場合があります。

HDMI出力端子付きのパソコンに接続する



ご注意

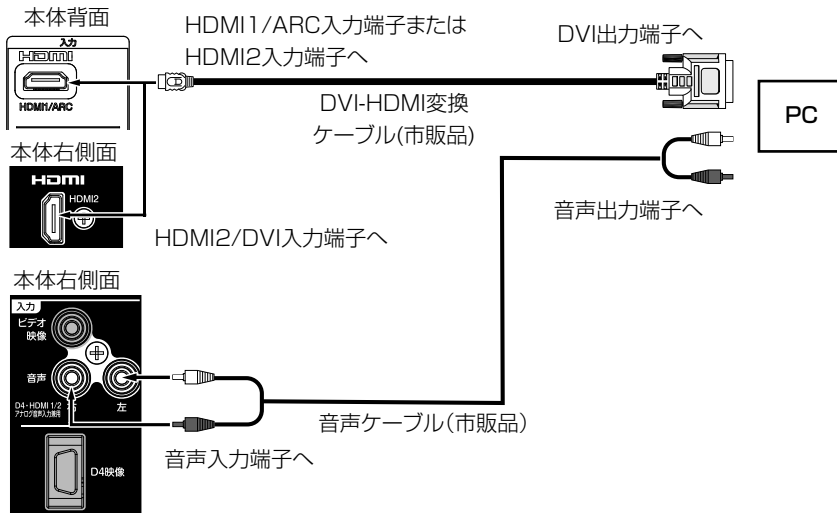
- パソコンのHDMI出力端子から音声が出力されない場合は、音声コードを接続してください。また、「HDMI音声入力設定」で接続したHDMI入力端子を選び、設定を「アナログ」にする必要があります。(39ページ参照)

対応している解像度

モード	解像度	垂直同期周波数
VGA	640×480	60Hz
SVGA	800×600	60Hz
XGA	1024×768	60Hz
WXGA	1360×768	60Hz
SXGA	1280×1024	60Hz

DVI出力端子付きのパソコンに接続する

DVI-HDMI変換ケーブルと音声ケーブルを接続してください。
また、「音声設定」→「HDMI音声入力設定」で、接続したHDMI端子を選び、「アナログ」に設定してください。(39ページ参照)



対応している解像度

モード	解像度	垂直同期周波数
VGA	640×480	60Hz
SVGA	800×600	60Hz
XGA	1024×768	60Hz
WXGA	1360×768	60Hz
SXGA	1280×1024	60Hz

ご注意

- 音声にノイズが入る場合、外部機器側で再設定が必要な場合があります。
 - パソコンと接続する場合、本機とパソコンの取扱説明書をよくお読みください。
 - モニターディスプレイモードは、パソコンの設定や性能により表示できる解像度が異なります。詳しくは、パソコンの取扱説明書をご確認ください。
 - お使いのPCによっては、サポートしている解像度でも、正常に映像を表示できない場合があります。
 - DVI接続の場合は、音声ケーブルの接続も必要になります。この場合、「HDMI音声入力設定」で接続したHDMI入力端子を選び、設定を「アナログ」にする必要があります。(39ページ参照)
- * HDMIケーブルまたはDVI-HDMI変換ケーブルで接続した場合は、これらの解像度はサポートしていません。

双方向通信／データ放送の準備

テレビとLANケーブルを接続することで、視聴者参加型番組への参加や、番組に関連した用語集や料理レシピなどのデータ放送を楽しむことができます。

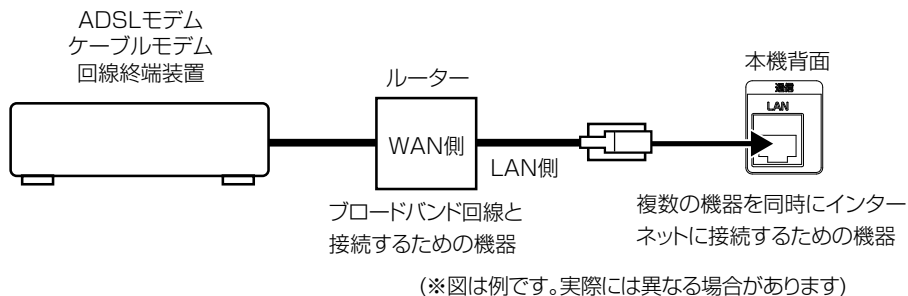
接続する前に

- 接続の際には、本機と周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で作業してください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。詳細はご利用の回線業者にお問い合わせください。
- ブロードバンド環境がない場合には、まずインターネット接続サービスプロバイダーやADSL回線/CATV回線/光回線等を提供している回線事業者と契約する必要があります。詳細はお買いもとの販売店や、各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。また、申込みをされてから、実際に回線を使用できるようになるまでに、工事が必要になったり、手続きに時間がかかる場合があります。
- 本機にはプロバイダーに接続するためのユーザーIDやパスワードを登録することができません。接続に認証が必要なときは、ブロードバンドルーターに直接情報を登録してください。
- LANケーブルは市販の10BASE-T/100BASE-TXタイプのもをご使用ください。
- LANケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類あります。ご使用の形態により、使用するケーブルをお選びください。詳しくは各周辺機器の取扱説明書をご覧ください。
- ルーターの設定は、プロバイダーから提供される設定情報（ユーザーIDやパスワード、IPアドレス、DNSなど）をブロードバンドルーターに設定します。詳しくは、各ブロードバンドルーターの説明書をご覧ください。
- 設定にはパソコンが必要な場合があります。パソコンをお持ちでない場合は、お買いもとの販売店や、プロバイダー、回線事業者にご相談ください。
- LAN 接続において、無線LAN機器を使った接続は動作保証外となります。
- 本製品はペーパービュー（有料放送）には対応しておりません。
- 回線の接続が終わったら、本製品のメニューから「通信設定」をおこなってください。（40ページ）

ブロードバンド環境への接続

※接続の際は各機器の説明書も合わせてお読みください。

※詳細については各プロバイダー、回線事業者にお問い合わせください。



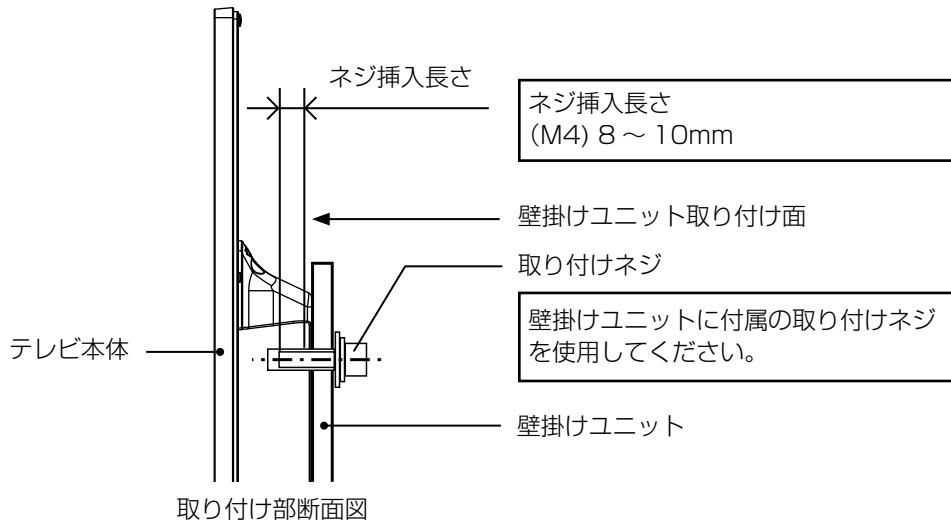
ご注意

電話用のモジュラーケーブルを、LAN(10BASE-T)端子に挿入しないでください。本機の故障の原因となります。

壁掛け設置について

本機を壁掛け設置する場合は、市販品の 100 × 100mm の VESA 規格に準拠した壁掛けユニットをご使用ください。また、危険ですから個人での取り付けは避け、販売店にお問い合わせの上、指定の取り付け工事業者に依頼してください。

- 壁掛けユニットを取り付ける際は、壁掛けユニットに付属の取り付けネジを使用してください。
- 壁掛けユニットに付属の取り付けネジ以外は使用しないでください。
- 壁掛けユニット取り付け面からのネジ挿入長さは図のように設定されています。
- 必ず設定範囲内の長さのネジを使用して取り付けてください。



ご注意

ネジの長さが短すぎるとテレビ本体の重さを維持することができず、落下してけがの原因となることがあります。また、長すぎるとネジを完全に締めることができません。壁掛けユニット取り付け面からのネジの長さは非常に重要です。

エラー表示一覧表

代表的なエラー表示について説明します。

メッセージ	内容または対処のしかた
全般	
このチャンネルはテレビ放送用チャンネルではないため視聴できません。(E200)	このチャンネルは本機では視聴できません。
降雨対応放送に切り替わりました。(E201)	雨などの影響で降雨対応放送に切り換わりました。天候が回復すれば自動的に元の状態に戻ります。
受信できません。 アンテナの設定や調整を確認してください。(E202)	<ul style="list-style-type: none"> ・一時的に電波状況が悪くなっている可能性があります。 ・アンテナの調節や接続を確認してください。 ・放送局の整備などによる停波の可能性があります。 ・落雷や豪雨などの気象条件により、受信できなくなることもあります。天候が回復すれば自動的に元の状態に戻ります。 ・放送の電波が強すぎる場合は、「アッテネーター」を「オン」にしてください。
現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)	選局したチャンネルは現在番組を放送していません。他のチャンネルをご覧ください。
このチャンネルはありません。(E204)	選局したチャンネルでは放送が行われていません。
BS・110度CS-IF入力に接続されたアンテナ線がショートしているか、接続設定に不具合があります。 映像が映っていない場合は、今すぐ本体の電源を切り、アンテナとの接続を確認してください。 映像が映っている場合、またはアンテナを接続していない場合は、決定ボタンを押してください。(E209) BS・CSアンテナへの電源をオフします。	アンテナのコンバーター電源がショートしています。アンテナやアンテナ線に問題がないか確認してください。
本機ではこのチャンネルを受信できません。(E210)	本機で対応していないサービスを選局しました。他のチャンネルをご覧ください。
無信号自動電源オフが働きました。	前回、無信号電源オフにより電源オフした後、最初の電源投入後に表示されます。
無操作自動電源オフが働きました。	前回、無操作電源オフにより電源オフした後、最初の電源投入後に表示されます。
B-CASカードを正しく挿入してください。 挿入していても、このメッセージが表示される場合は、一旦電源を切り、カードを抜いて挿入し直してください。	B-CASカードが正しく挿入されているか確認してください。
操作できません。	HDMI連動対応の機器を接続してから、操作してください。
機器が接続されていません。	ARC対応のオーディオ機器を接続してから、操作してください。
このチャンネルは契約されていません。 案内画面に戻るには決定ボタンを押してください。	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
契約期限が切れています。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。
地上デジタルのチャンネルは設定されていません。 地上デジタルのチャンネル設定を行ってください。	地上デジタル放送のチャンネル設定を行ってください。
デジタル放送のテレビサービス以外は、静止できません。	外部入力では、静止できません。
このボタンにチャンネルは設定されていません。	チャンネル設定にて、リモコンボタンにチャンネルを設定してください。
このチャンネルはご覧になれません。 ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへ連絡してください。	契約内容や契約期限などを確認し、ご覧のチャンネルのカスタマーセンターまでご連絡ください。

メッセージ	内容または対処のしかた
USB HDD操作時	
取り外し処理中です。 しばらくお待ちください。	USB HDDの取り外し処理中です。メッセージが消えてからUSB HDDを取り外してください。
フォーマット中です。 しばらくお待ちください。	USB HDDの初期化中です。メッセージが消えてから操作してください。
USB機器が見つかりません。	USB HDDが正しく接続されているかご確認ください。
USB端子の電源容量を超えました。 接続機器を外して、本体の電源をオフ、オンしてください。	接続した機器の電流が大きすぎる場合に表示されます。接続した機器の取扱説明書に記載のお問い合わせ先までご相談ください。
この機器は直接テレビに接続されていないので、正しく動作しない可能性があります。	USB Hubは使用できません。直接、USB HDDを本機に接続してください。
予約がいっぱいです。 予約を削除してからやり直してください。	予約設定を削除してください。
予約が完了しました。USB HDDの録画可能時間が少なくなっているため、正しく録画できない可能性があります。	USB HDDの空き容量が少なくなっています。不要な録画番組を消去してください。
USB HDDがいっぱいのため、録画できません。	USB HDDの空き容量が少なくなっています。不要な録画番組を消去してください。
録画できる最大タイトル数を超えるため、録画できません。	不要な録画番組を消去してください。
この番組はコピー禁止のため録画できません。	コピーガードのかかった番組は録画できません。
接続されていたUSB HDDを認識できません。	USB HDDが正常に接続されているか確認してください。
録画・再生用のHDDがありません。	録画用のUSB HDDを接続して、初期化と登録を行ってください。
デジタル放送のテレビサービス以外は、録画できません。	外部入力の信号は、録画できません。
このドライブは録画フォーマットされているため、表示および再生ができません。	録画フォーマットされていないUSB機器を接続して、写真リストを表示してください。
ネットワーク	
家庭内ネットワークへの接続に失敗しました。 ケーブルの接続、ネットワーク設定を確認してください。	LANケーブルが正しく接続されているかご確認ください。

故障かな?と思ったら

使用方法を間違えると、次のような症状が起こり、故障と思われることがあります。修理を依頼される前に、下の表でチェックしてください。

症状	主な原因	チェック項目	参照ページ
映像・音が出ない。	① 電源プラグが抜けている。 ② 電源ブレーカーが落ちている。 ③ 本体の電源がオフになっている。 ④ 外部機器の不具合。 ⑤ 異なる外部入力を選択している。 ⑥ ソフトウェアの更新が行われている。	① プラグを正しく接続してください。 ② ブレーカーを確認してください。 ③ 電源ボタン を押して、電源をオンにしてください。 ④ 接続された機器の状態や接続を確認してください。 ⑤ 入力切換ボタンを押してお望みのモードにしてください。 ⑥ ソフトウェア更新が行われている場合、電源オンから映像・音声が出るまでに時間がかかることがあります。	13 — — 48~53 48 43
音は出るが映像が出ない。	① 映像ケーブルが接続されていない。	① 映像ケーブルを正しく接続してください。	49
映像は出るが音が出ない。	① 音量が最小になっている。 ② リモコンの消音ボタンを押している。 ③ 音声ケーブルが接続されていない。 ④ ヘッドホンが挿入されている。	① 音量+ボタンを押してください。 ② リモコンの消音ボタンを押して、消音状態を解除してください。 ③ 音声ケーブルを正しく接続してください。 ④ ヘッドホン端子からヘッドホンを抜くか、ヘッドホンモードの設定をしてください。	18 18 48~53 18, 39
画面の一部が欠ける。	① 画面サイズの設定が映像信号と合っていない。	① 表示モードの設定を「オート」にしてください。	39
リモコンで操作できない。	① 電池の+が逆になっている。 ② 電池が消耗している。 ③ リモコンが本体の受光部に向いていない。 ④ 本体の電源が切れている。	① +を正しく入れてください。 ② 2本とも新しいものと交換してください。 ③ リモコンを正しく向けてお使いください。 ④ 本体の電源を入れてください。	12 12 12 —
突然電源が切れる。	① 自動電源オフ機能が働いている。 ② オフタイマーを設定している。 ③ 外部機器のパワーセーブ状態。	① 無信号自動電源オフと無操作自動電源オフを「オフ」に設定してください。 ② オフタイマーを「オフ」にしてください。 ③ 接続された機器の状態や接続を確認してください。	40 20 48~53
ときどき「カチッ」「ヒューン」と音がする。	本機はスタンバイ状態や切の状態でも各種情報取得や時刻修正などのため、内部スイッチを自動で入り切りします。その際、スイッチ音が発生したり、接続したHDDの起動音がしたりします。これは故障ではありません。		—
ときどき「ジー」という音がする。	ご使用中に動作音が聞こえることがあります。また、テレビと背面の壁が近いと、反響して音が大きくなる場合があります。壁との距離を十分に離して設置してください。		—
テレビの上部や背面が熱くなっている。	長時間使用した場合、50℃~60℃くらいまで表面温度が上昇することがあります。これは故障ではありません。		—
テレビの表面温度が高い。	液晶バックライトの点灯による温度上昇です。50℃~60℃くらいまで上昇することがあります。これは故障ではありません。		—
映像内容が変わっても、前の映像が残って見える。	静止画やメニューを短時間(1~数分以上)表示し、映像内容が変わると、前の静止画などが残像として見えることがありますが、自然に回復します。		—

症状	主な原因	チェック項目	参照ページ
テレビの電源を入れたあと、ブロックノイズが出現することがある。	HDDの準備などにより、まれに生じることがあります。これは故障ではありません。		—
映像や字幕の切り換わり、CMやアニメのシーンの切り換わりなどに、横スジが現れる。	映像の製作方法によるものです。これは故障ではありません。シネマ設定を「オフ」にすることで、改善することもあります。		38
テロップや字幕がギザギザになる。			
電源が入るまでに時間が掛かる。	① 電源を入れてから映像・音声が出来るまでに数十秒かかる場合がありますが、故障ではありません。 ② ソフトウェア更新が行われている場合、電源オンから映像・音声が出来るまでに時間がかかることがあります。		—
			43
すべての操作を受け付けられない。	電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。		—
デジタル放送について			
デジタル放送が映らない。	① B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ② UHFアンテナまたはBS/CSアンテナが設置されていない。 ③ アンテナ線が正しく接続されていない。 ④ お住まいの地域を正しく設定していない。	① B-CAS カードを正しく挿入してください。	15
		② UHFアンテナまたはBS/CSアンテナが立っているか確認してください。	14
		③ アンテナ線を正しく接続してください。	14
		④ チャンネル設定を行ってください。	42
チャンネルが受信できない。	① アンテナをさえぎる障害がある。 ② UHF アンテナやBS/CSアンテナの向きがずれている。または、受信感度の数値が低い、または高い。	① 障害が無いように、アンテナ位置を調節してください。 ② アンテナの位置・角度を調節して、アンテナレベルを地デジ45以上、BS/CS 50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。地デジのアンテナレベルが高すぎる場合は、メニューの「初期設定」→「設置設定」→「受信設定」→「地上デジタル」→「アッテネーター」を「オン」に切り換えてください。	— 14, 42
画面が止まる。	① アンテナをさえぎる障害がある。 ② UHF アンテナやBS/CSアンテナの向きがずれている。または、受信感度の数値が低い、または高い。 ③ アンテナおよびアンテナ線は専用のものを使用していない。	① 障害物が無いように、アンテナ位置を調節してください。	—
		② アンテナの位置・角度を調節して、アンテナレベルを地デジ45以上、BS/CS 50以上の値になるようにしてください。受信状態によっては、デジタル対応のブースターが必要な場合があります。メニューの「初期設定」→「設置設定」→「受信設定」→「地上デジタル」→「アッテネーター」を「オン」に切り換えてください。	14, 42
		③ 専用のアンテナとアンテナ線を使用してください。	14

症状	主な原因	チェック項目	参照ページ
地上デジタル放送の放送局のマークが表示されない。	放送局のマークを表示するまでには時間がかかることがあります。	地上デジタル放送をしばらく視聴すると、マークが表示されます。	—
地上デジタルなのに画質が悪い。	地上デジタル放送では番組内容によりSD放送(一般画質放送)とHD放送(ハイビジョン放送)があり、SD放送の場合はHD放送と比べ画質が落ちます。	放送の内容によるもので故障ではありません。	—
デジタル放送が受信できなくなった。	ソフトウェアのダウンロードをした。	ソフトウェアのダウンロードの内容によっては、各種設定がお買上げ時の設定値に戻る場合があります。再度設定のやり直しをしてください。	43
ダウンロードが終了しない。 電源が入らなくなった。	① ソフトウェアのダウンロード中に異常が発生した。 ② ソフトウェアのダウンロード中に、電源コードをコンセントから抜いた。	① 電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。 ② コンセントを差して、起動するまで暫くお待ちください。起動時間が長くなるときの場合があります。	43
時刻が表示されない。	デジタル放送で時刻を取得していますが、電源プラグを抜くと時刻がリセットされます。デジタル放送を視聴しないと情報が取得できず表示されません。	地上デジタル/BS デジタル/CS デジタルいずれかを視聴してください。	—
視聴中の番組表しか表示されない。	番組表は放送ごとに送信されてきます。表示されない放送を選局後、しばらく視聴してください。または、番組表更新のタイミング(深夜3時頃)に停電などで情報を取得できなかった可能性もあります。		—
急に画質や音質が低下した。	降雨対応放送になっている。	雨の影響により、電波が弱くなっても受信可能な降雨対応放送に切り換わる場合があります。天候の回復により、良化します。	—
有料放送が視聴できない。	① B-CAS カードが正しく挿入されていない。 ② 有料放送視聴契約をしていない。	① B-CAS カードを正しく挿入してください。 ② 視聴手続きをしてください。	15 —
予約が実行されない。	① 開始時刻に停電などで電源が切れた。 ② HDDの残量がなかった。	① 予約後に電源を切る場合は、リモコンまたは本体の 電源ボタン で電源を切ってください。 ② 事前に残量を確認してください。	— 29
字幕が出ない。	① 字幕のない番組を見ている。 ② 字幕設定が「オフ」になっている。	① 番組説明で字幕があるかどうかを確認してください。 ② 字幕設定を「オン」にしてください。	20 20
映像が停止したり選局やその他操作を受け付けない。	電源コードを一度コンセントから抜き、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れてください。		—
HDMI入力について			
映像が出ない、乱れる。	① ケーブルの接続を確認してください。また、念のためケーブルを一度抜いてから再度挿してください。 ② 一部機器では正常に動作しないことがあります。 ③ テレビおよび接続機器の電源を「切」→「入」してください。 ④ 接続機器の設定を対応信号にしてください。また、接続機器の出力設定を確認し、本機の対応信号にしてください。音声にノイズが入る場合なども、接続機器側で再設定が必要な場合があります。接続機器の取扱説明書を参照してください。		48, 50 — — —
HDMI連動が動作しない、正しく動作しない。	① HDMI連動対応機器を接続してください。 ② 「HDMI連動設定」「HDMI機器操作」「HDMI機器設定」の設定を確認してください。 ③ HDMI連動対応機器をつなぎ変えたり、取りかえた場合は、正しく動作しないことがあります。「HDMI連動設定」を再設定してください。 ④ HDMI連動対応機器側の設定を確認してください。(詳しくは接続機器の取扱説明書をご覧ください) ⑤ HDMI規格に適合したケーブルを使用してください。1080pの映像信号を入力する場合は、HIGH SPEED対応品をご使用ください。ARC機能を使用する場合は、ARC対応品をご使用ください。		50 42, 44 42 — 51

症状	主な原因	チェック項目	参照ページ
HDD録画について			
録画ができない。	① 録画可能時間が足りない。 ② 録画済みタイトルが上限(3000)に達している。 ③ 録画禁止の番組を録画しようとした。 ④ ラジオやデータ放送、静止画を録画しようとした。 ⑤ HDDアクセス中に電源プラグを抜いた。	① 不要な番組を削除し、録画可能時間を確保してください。 ② 不要な番組を消去してください。 ③ 録画禁止の番組は録画できません。 ④ これらのソースは録画できません。 ⑤ 録画済みの番組が全て消去される可能性がありますので、HDDの初期化を行ってから使用してください。	34 34 - - 25
録画が途中で止まる。	① 録画可能時間が足りない。 ② 途中から録画禁止の番組が変わった。 ③ 録画中に電源プラグ抜けや停電があった。	① 不要な番組を削除し、録画可能時間を確保してください。 ② 録画禁止の番組は録画できません。 ③ 録画中に電源プラグ抜けや停電があった場合は、録画が停止します。この場合の録画は保証できません。	34 - -
録画予約ができない。	① 録画可能時間が足りない。 ② 録画禁止や、未契約の番組を録画しようとした。	① 不要な番組を削除し、録画可能時間を確保してください。 ② 録画禁止の番組や、未契約の番組は録画できません。	34 -
再生できない。	録画時の異常などにより、正常録画されなかった番組を再生しようとした。	正常に録画できなかった番組は再生できません。	-
再生画面にブロックノイズが出る。	以下の場合に発生する場合があります。これは故障ではありません。 ・元映像にブロックノイズがある。 ・天候などにより、受信状態が悪化した。 ・画面の激しい動きに映像処理が対応できない。 ・HDDの物理エラーが発生している。 エラーが多発する場合は、HDDの取扱説明書などを参照してください。		-
録画済の番組を消去できない。	プロテクトされている番組を消去しようとした。	プロテクトされている番組を消去する場合は、プロテクトを解除してください。	34
録画予約した番組が正しく録画されていない。	① 録画可能時間が足りない。 ② 予約録画実行中、受信障害や放送休止になっていた。 ③ 録画中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。 ④ 本体の電源がオフになっていた。 ⑤ 録画予約されていなかった。 ⑥ 予約時間が重なっている。 ⑦ 放送ダウンロードが行われた。	① 不要な番組を削除し、録画可能時間を確保してください。 ② 正常に受信できない場合や、休止などがあった場合、録画できません。 ③ 録画中に停電や電源プラグが抜けるなどがあると、番組が消失することがあります。消えた番組は補償されません。 ④ 本体の 電源ボタン で電源を切ると、予約した録画ができません。電源を切るときは、リモコンの 電源ボタン を押し、スタンバイ状態にしてください。 ⑤ 予約リストで録画予約内容を確認してください。 ⑥ 先に予約した番組の録画が終了後、後に予約された番組の録画が開始されます。 ⑦ 放送ダウンロード中は、録画できません。	34 - - 27 22 30 -
録画した番組がすべて消えた。	録画中や再生中に、停電や電源プラグが抜けるなどで電源が切れた。	録画中や再生中に停電や電源プラグが抜けるなどがあると、番組が消失することがあります。消えた番組は補償されません。	-
メニューや番組表などの表示が遅いことがある。	録画中などでテレビの内部処理が一時的に重くなっている場合に、動作が遅くなる場合があります。これは故障ではありません。		-

症状	主な原因	チェック項目	参照ページ
ネットワークについて			
家庭内ネットワークへの接続に失敗している。イーサネット通信ができない(LAN端子を使った双方向サービスができない)。	① 接続を確認してください。	① ハブを使用している場合は、ハブのLinkランプを確認し、点灯/点滅していない場合は、ケーブルの接続や、ケーブルの種類を確認してください。(詳しくは、ハブの取扱説明書をご覧ください。)	40、54
	② ネットワーク設定でIPアドレスが「0.0.0.0」になっている。	② IPアドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを設定してください。	40
	③ DHCPが動作していない。	③ ルータの設定を再確認後、ルータを再起動してください。	—
	④ ネットワーク機器のトラブル。	④ 本機はすべてのネットワーク機器に対して動作を保証するものではありません。また、ネットワーク機器の機能やコンテンツによって動作が異なります。	54
通信速度が遅い、不安定。	回線が混んでいる。	時間を置いてから通信してみてください。 ※ 接続機器の使用状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。(データ量が多い場合など) 通信速度については、インターネット接続業者にご相談ください。	—

- 本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズが入った場合などに誤動作を起こすことがあります。本機が正常に操作できなくなった場合は、一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて、あらためてコンセントに差し込み、電源を入れて操作してください。
- 液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがありますが故障ではありません。
- 室温や湿度の変化により、キャビネットがわずかに伸縮することで“ビシッ”と音がする場合がありますが、故障ではありません。

それでも問題が解決しないときは…

何らかの理由でテレビが一時的な誤動作を起こしている可能性があります。電源コードを抜き挿しすることにより、改善されることがありますので、以下の手順を参照の上お試しください。

1. テレビ本体および接続機器の電源を「切」にする。
2. テレビの電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源ランプが消えてから2分ほど置いて、電源コードをコンセントに差し込む。
4. テレビ本体の電源を「入」にする。

ライセンス情報

本製品で使用しているソフトウェアプログラムに含まれるライセンス情報の詳細につきましては、本製品の「メニュー」→「初期設定」→「システム設定」→「ライセンス情報」→「ソフト情報表示」をご覧ください。

- HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国々におけるHDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

アフターサービスについて

- 修理を依頼される前に58～62ページの「故障かな?と思ったら」をもう一度お読みください。
- 本製品についてのアフターサービスは、お買上げの販売店または、サービスセンターにご相談ください。

■保証書(別に添付してあります)

保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」等の記入を確かめて、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みの後、大切に保管してください。製造番号は品質管理上重要なものです。保証書と製品本体背面の製造番号をお確かめください。

■修理サービスについて

この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」に従って調べていただき、直らないときには、必ず電源プラグを抜いてから、後の処理をしてください。

- 保証期間中は保証書の規定に従ってお買上げの販売店、またはサービスセンターが修理をさせていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは、お買上げの販売店へご相談ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容

- ご住所・氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買上げ日・お買上げの販売店名
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)

■補修用性能部品の最低保有期間

本機の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の最低保有期間は製造打ち切り後8年間です。但し、部品製造者側での早期製造打ち切り(入手困難な状況含む)や一部の部品に於いては供給できない場合があります。

■アフターサービスのお問い合わせ先

本製品についての修理やアフターサービスのお問い合わせは、下記窓口までご連絡ください。

オリオン電機株式会社 サービスセンター

〒915-8555 福井県越前市家久町41-1

☎フリーダイヤル (0120)545-776

その他



家電品
愛情点検明るい暮らし

長年ご使用のテレビの点検を!

こんな症状は
ありませんか

- ・電源が入りにくい
- ・映像や音が出ない
- ・煙が出たり、異常な臭いや音がある
- ・水や異物が入った
- ・音は出るが映像がでない
- ・その他の異常や故障がある

上記のような症状のときは、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ずお買上げの販売店に点検(有償)をご相談ください。



J-Moss グリーンマークとは

特定の化学物質の含有率が基準値以下であることを示すマークです。

含有する化学物質については、下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.orion-electric.co.jp/jp/environment/environment-jmoss/>

仕様

		RN-24SF10	RN-32SF10
受信機型サイズ		24V型	32V型
電源		AC100V (50/60Hz)	
消費電力		34W(AC100V)	48W(AC100V)
待機時消費電力		0.22W (電源ボタン「切」時、クイックスタートオフ時)	0.22W (電源ボタン「切」時、クイックスタートオフ時)
区分名		DK1	DN1
年間消費電力量		30kWh/年 (映像モード「スタンダード」時)	37kWh/年 (映像モード「スタンダード」時)
外形寸法	スタンド無し	33.9(高さ)×55.2(幅)×5.9(奥行)cm	44.7(高さ)×73.5(幅)×6.9(奥行)cm
	スタンド付き	36.2(高さ)×55.2(幅)×13.7(奥行)cm	47.4(高さ)×73.5(幅)×17(奥行)cm
質量	スタンド無し	3.2kg	5.3kg
	スタンド付き	3.4kg	5.5kg
テレビ部	映像入力端子	1Vp-p 75 Ω (RCAピンジャック)	
	D4映像入力端子	(Y)1.0Vp-p (CB/CR)0.7Vp-p, 75 Ω	
	HDMI入力端子	19ピン タイプA × 2	
	音声入力端子	-8.0dBm 50k Ω (RCAピンジャック) × 2	
	デジタル音声出力端子	Optical 0.5Vp-p 75 Ω	
	LAN入力端子	10 BASE-T/100 BASE-TX	
	PC入力端子	RGB映像:D-Sub 15ピン、音声:ステレオミニジャック	
	USB端子(HDD、USB×モ リー接続用)	USB 2.0	
	ヘッドホンジャック	3.5Φmmジャック	
	アンテナ入力	地上デジタル × 1、BS/110度CS-IF × 1	
	許容動作温度	(動作時) 5℃~40℃ (保存時) -20℃~60℃	
	許容相対湿度	80%以下	
	液晶画面	画素数：水平1366 × 垂直768 ピクセル	
	受信チャンネル	地上デジタル：VHF1~12 / UHF13~62 / CATV C13~C63 BSデジタル：1~23 CS110度デジタル：ND2~ND24	
	チューナー	地デジ × 2、BS/110度CS × 2 (裏番組録画に対応)	
	音声実用最大出力	3W+3W	10W+10W
スピーカー	フルレンジ：3cm × 7cm、8Ω	フルレンジ：4cm × 12.2cm、6Ω	
リモコン	電源	DC3V(単4形乾電池 × 2)	
	リモコン操作距離	Lモード：約3m、Hモード：約5m(直進)	
付属品	リモコン×1、単4形乾電池×2、B-CASカード(ミニカード)×1、B-CASカードカバー×1、本体スタンド×1、B-CASカードカバー固定用ネジ(3×8mm)：1本、本体スタンド取り付け用ネジ(4×18mm)：4本		

年間消費電力とは： 省エネルギー法に基づいて、型サイズや受信機の種類の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

区分名とは： 省エネルギー法では、テレビの画素数、表示素子、動画表示及び付加機能の有無等に基づいた区分を行なっています。その区分名称となります。

- ディスプレイの型は画面寸法を表すものではなく、有効画面の外径対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。
- 外観および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
- 本機をご使用できるのは日本国内のみで、外国では使用できません。

This unit can not be used in foreign country as designed for Japan.

オリオン電機株式会社

〒915-8555 福井県越前市家久町41-1



Printed in Thailand